Panasonic®

取扱説明書 操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 **CF-31シリーズ**

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

表記について

- 本書では、Windows 7 と Windows XP 共通の手順および画面については、Windows 7 の手順および画面で説明しています。
- Windows XP の場合、メニューが一部異なる場合があります。
- Windows XP の場合、通知領域のアイコンをクリックする操作で をクリックする必要はありません。

本書では、Windows 7 または Windows XP の初期設定を用いて説明しています。

本書では名称等を以下のように表記します。

Windows 7

- 「Windows® 7 Professional 32 ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）」と「Windows® 7 Professional 64 ビット 正規版（Service Pack 1 適用済み）（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。

Windows XP

- 「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 3 正規版（日本語版）」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。

Windows Update について

（スタート）*1 - [すべてのプログラム] - [Windows Update]

- ドライバーをアップデートするかどうかのメッセージが表示されることがありますが、ドライバーのアップデートは行わないでください。ドライバーのアップデートが必要な場合は、ご相談窓口にご相談ください。

*1 Windows XP: [スタート]

Windows 7 について **Windows 7**

■ 音声と動画について

- Windows の使用状況によっては、Windows の起動時に音声が途切れることがあります。起動時に音声が出ないように設定するには、次の手順を実行してください。
  ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。
  ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

■ パソコン使用中にキーンという音が聞こえる

これを改善するには、USB の省電力機能の設定を変更してください。

- 次の手順で、[USB のセレクティブサスペンドの設定] を [有効] に設定してください。
  ① （スタート）- [コントロール パネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] をクリックする。
  ② 現在の電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
  ③ [プラン設定の編集] の [詳細な電源設定の変更] をクリックする。
  ④ [詳細設定] の [USB 設定] をダブルクリックする。

⑤ [USB のセレクティブサスペンドの設定] をダブルクリックする。
⑥ [バッテリー駆動] の設定を変更し、[電源に接続] を [有効] に設定する。
⑦ [OK] をクリックし、[詳細設定] の画面を閉じる。

Windows XP について Windows XP

コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows XP の初期設定を用いて説明しています。

- 「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」というメッセージが表示されたら
  画面右下のタスクトレイの をクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

キーの組み合わせによる操作

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウス、タッチパネルなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、キー操作は行わないでください。ドライブ状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップウインドウが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります。

キー	機能	ポップアップウインドウ
Fn+F1*1 Fn+F2*1	内部 LCD の輝度調整 （Fn+F1= 下げる／ Fn+F2= 上げる）	

キーの組み合わせによる操作

キー	機能	ポップアップウインドウ
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え**（➔55 ページ） 外部ディスプレイを接続してキーを押すと、画面の表示先を切り替えることができます。 Windows 7 コンピューターのみ / 複製 / 拡張 / プロジェクターのみ • Enter を押すまで切り替わらない場合があります。 • ⊞ + P を押しても同じ操作ができます。 Windows XP → LCD → LCD + HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）[*2] → HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）[*2] → LCD + HDMI ディスプレイ（パソコン側）→ HDMI ディスプレイ（パソコン側） → LCD + アナログディスプレイ → アナログディスプレイ → HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）[*2]+ HDMI ディスプレイ（パソコン側）→ HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）[*2]+ アナログディスプレイ → HDMI ディスプレイ（パソコン側）+ アナログディスプレイ **お願い** ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 • 外部ディスプレイが接続されていないとき • DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき • ゲームを表示しているとき Windows XP • 拡張デスクトップモードを使用しているとき	Windows 7 （画面は一例です） Windows XP —
Fn+F4[*3]	**音声出力のオン／オフ**	オフ（ミュート）　オン

キー	機能	ポップアップウインドウ
Fn+F5[*3] Fn+F6[*3]	音量調整 （Fn+F5= 下げる／ Fn+F6= 上げる） お知らせ ● 音量を微調整するときは、 Fnを押したままF5またはF6を断続的に押してください。 ● ビープ音およびUSBポートに接続しているスピーカーには働きません。	
Fn+F7	スリープ[*4] 状態に入る（➔16 ページ）	—
Fn+F8	**Concealed Mode のオン／オフ** LCD バックライト、LED、サウンド[*5]、無線電波、Backlit Keyboard、ファン[*6] のオン／オフを選択することができます。 お知らせ ● セットアップユーティリティの「Concealed Mode」を「有効」に設定しておく必要があります。（➔104ページ） ● セットアップユーティリティの「Concealed Mode設定」で、どのデバイスをオフにするかを選択できます。（➔104ページ） ● Fn＋F8を連打すると、Concealed Modeの切り替えができないことがあります。オン／ オフを切り替える際は、4秒以上間隔を空けてください。	—
Fn+F9	バッテリー残量確認 （バッテリーパックが本体に装着されているとき）	➔27 ページ
Fn+F10	休止状態に入る（➔16 ページ）	—

[*1] 「Concealed Mode 設定」の「LCD バックライト」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。
[*2] HDMI 端子付きのポートリプリケーター接続時のみ
[*3] 「Concealed Mode 設定」の「サウンド」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。
[*4] Windows XP: スタンバイ
[*5] 「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定すると、スピーカーから音は出ません。ただし、画面右下の通知領域の または や、[デバイスの音量] の表示はミュート状態にはなりません。
[*6] 「Concealed Mode 設定」で「ファン」を「オフ」に設定すると、ファンに異常があり停止した場合であっても、ファンの状態を知らせるメッセージが表示されなくなります。

Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで、 Fn が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップウインドウの表示／非表示**

1　Hotkey設定プログラムを起動する。

（スタート）*7- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey設定] をクリックする。

2　各項目を設定する。

[Fnキーをロックする]

- Fn を 1 回だけ押す場合
  ① Fnを1回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）
- Fn を連続して使う場合
  ① Fnを2回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（再度Fnを押すまでロック状態のままです。）

[通知方法]

[Fnキーが押されたときに音を鳴らす]*8

[Fnキーの状態を画面に表示する]：画面右下の通知領域にあるをクリックしたときに、Fnキーの状態を表示します。

- ：Fn ロック状態
- ：Fn ロック解除

[ポップアップを表示しない]

ポップアップウインドウが表示されなくなります。

[Fnキーを押している間ステータスバーを表示する]

[ステータスバーの表示位置]： [画面最上段]を選択すると、パソコンの上側にステータスバーが表示されます。
[画面最下段] を選択すると、パソコンの下側にステータスバーが表示されます。

3　[OK]をクリックする。

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

*7 Windows XP: [スタート]

*8 スピーカーがミュート状態になっていたり、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定したりしている場合は、ビープ音は鳴りません。

タッチパネル機能を使って、フラットパッドやマウスと同様の操作ができます。指または付属のスタイラスペンで画面の表面に触れてください。

Windows 7

詳しくは、(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [ペンとタッチ] - [フリック] - [フリックの使い方の練習] をクリックしてください。

- 右クリックするには

  Windows 7

  ① スタイラスペンで右クリックの対象を指し続けるか、または右クリックの対象を指しながら「タッチ ポインター」の右ボタンを選択する。

  Windows XP

  ① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。
  が に変わります。
  ② 右クリックする対象をクリックする。
  が に戻ります。

お知らせ

- タッチパネル機能はセットアップユーティリティでは使用できません。

Windows XP

- ユーザーごとに次の設定をしてください。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Fujitsu Touch Panel (USB)] - [タッチパネルの設定]をクリックする。
  ② 必要な設定をして、[OK]をクリックする。
  - [カーソルを表示しない。]にはチェックマークを付けないでください。画面が乱れる場合があります。
  - [タッチパネルの設定]の[[Ctrl] キーを押しながらタッチ]の[つかう]にチェックマークを付けた場合、画面に触れるとすべて右クリックになる場合があります。通常の操作に戻すには、キーボードの**Ctrl**を押してください。
- タッチパネル機能は、[コマンドプロンプト] の全画面表示では使えません。

タッチパネルの操作

- 指または付属のスタイラスペンでタッチパネルを操作する
  タッチパネル機能を使うときは、必ず指または付属のスタイラスペンで表面に触れながら操作してください。
  指やスタイラスペン以外の物（指のつめや金属、硬くて先のとがった物）でタッチパネルを操作すると、表面に傷跡や汚れが付いて誤動作の原因になることがあります。
- 大きな力をかけずに操作する
  タッチパネルは軽く触れるだけで操作できます。大きな力をかけると表面を傷つけることがあります。

タッチパネルのお手入れ

- タッチパネルが汚れたときは、専用布でふき取る

  タッチパネルには専用の処理が施されていますので、汚れは専用布で簡単にふき取ることができます。簡単に汚れが落ちなければ、表面に息を吹きかけてからふき取ってください。
  専用布に水や溶剤を染み込ませてふき取らないでください。

- **LCD** 画面清掃についてのお願い

  本機の LCD 画面は、屋外での視認性向上のため、低反射コーティングがされており、お取り扱いによっては傷つきやはがれが発生する可能性があります。そのため、本機には LCD をふくための専用布を付属しております。ご使用になる前に以下の説明を必ずお読みください。

  - 指紋等の LCD 画面の汚れは、必ず付属の専用布でふいてください。
  - 専用布で LCD 画面以外をふかないでください。

  ＜専用布の使い方＞

  - 専用布は乾いた状態で使用してください。専用布に水や薬品を付けないでください。
  - LCD がぬれた場合は専用布で軽くふき取ってください。
  - 本機を使用する前に、LCD 画面をふくことをお勧めします。
  - LCD 画面に付着した砂やほこりはあらかじめ、専用布の片面で軽くふき取っておいてください。この際、強くふき取ると砂やほこりで LCD の表面を傷つけることがあります。
    次に、砂やほこりをふき取った面と反対の面で、指紋等の汚れをふき取ってください。砂やほこりをふき取った後は、布を洗濯（下記参照）して砂やほこりを取っておいてください。
  - 布が汚れた場合は中性洗剤を使用して洗濯してください。漂白剤、柔軟材の使用や煮沸消毒をしないでください。

- パソコンの電源を切ってから清掃する

  電源を入れて画面を清掃すると、パソコンが誤動作を起こす原因になります。また、タッチパネルの汚れは電源が切れているときの方が目立つため、清掃がしやすくなります。

- 専用布の汚れを洗い落とす

  専用布の汚れは刺激の少ない洗剤で洗濯してください。漂白剤や布地用柔軟剤（軟化剤）を使ったり、沸騰したお湯で専用布を殺菌したりしないでください。
  汚れた専用布を使用すると、タッチパネルに汚れが付着する原因になります。

- タッチパネル表面のひっかき傷を防ぐため、次の項目を確認する
  - 指またはスタイラスペンでタッチパネルを操作しているか
  - 表面が汚れていないか
  - 専用布が汚れていないか
  - スタイラスペンの先端が変形していないか
  - スタイラスペンの先端が汚れていないか
  - 指が汚れていないか

タッチパネル操作時の注意事項

- 表示領域の外に触れない
  タッチパネルで操作できる範囲は画面の表示領域内です。表示領域の外に触れると、誤動作したり傷が付いたりする原因になります。
- タッチパネルに必要以上の力をかけない
  LCD をつかんでパソコンを持ち上げないでください。また、LCD の上 に物を載せないでください。このような取り扱いをすると、タッチパネルのガラス面や内部 LCD が破損することがあります。
- 気温が下がると操作時の応答速度が低下する
  パソコンを気温 5 ℃ 未満の場所で使用するとタッチパネルの応答速度が低下することがありますが、これは誤動作ではありません。パソコンが室温まで上がると応答速度は正常な状態に戻ります。
- 画面で触れた位置とは異なる位置へポインターがジャンプしたときや、**LCD** の解像度が変更されたときは、タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行する（下記）

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

Windows 7
標準ユーザーが各自の補正を実行する前に、管理者権限で補正を実行しておくことが必要です。

■ 管理者権限での補正

お知らせ

- 管理者権限で Windows にログオンしてから、この補正を実行してください。

1 **[Tablet PC 設定] を起動する。**
(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タブレットの補正] をクリックします。

2 **画面上に " ＋ " マークが表示されるので、順番に触れる。**

3 **[OK] をクリックする。**

■ ユーザーごとの補正

お知らせ

- ユーザーごとに下記の補正（キャリブレーション）を実行してください。

1 **[Tablet PC 設定] を起動する。**
(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [タブレットの補正] をクリックします。

2 **画面上に " ＋ " マークが表示されるので、順番に触れる。**

3 **[OK] をクリックする。**

Windows XP

1 **[補正ツール]を起動する。**
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Fujitsu Touch Panel (USB)] - [補正ツール]をクリックする。

2 **画面上に順番に“+”が表示されるので、スタイラスペンを使って点滅するまで1つずつ触れた後、Enterを押す。**

3 **Enterを押す。**

お知らせ

- ユーザーごとにタッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。

タッチパネルにサインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「手書きユーティリティ」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。

お知らせ

- ディスプレイの色数を変更すると、「手書きユーティリティ」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下の通知領域にある をクリックし、 を右クリックして[手書きユーティリティの終了]をクリックした後、再度「手書きユーティリティ」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「手書きユーティリティ」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

「手書きユーティリティ」を起動する

1　画面右下の通知領域にある をクリックし、 をダブルクリックする。

または、（スタート）[*1] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [手書きユーティリティ]をクリックする。

お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に[オプション] - [画面サイズの設定]で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー]をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。

*1　Windows XP: [スタート]

「スリープ[*1]」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スリープ[*1]または休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スリープ[*1]	メモリー	短い	必要（スリープ[*1]状態中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要（ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

[*1] Windows XP: スタンバイ

スリープ・休止状態の設定

Windows 7

■ スリープ状態

1 **画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。**

2 **変更したい電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。**

3 **[コンピューターをスリープ状態にする] の設定内容を変更し、[変更の保存] をクリックする。**

- スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間も変更される場合があります。休止状態に移行する時間を確認してください（下記）。工場出荷時の設定（1080 分）よりも短く設定しないようにしてください。

■ 休止状態

1 **「スリープ状態」の手順 2（上記）を実行してから、[詳細な電源設定の変更] をクリックする。**

2 **[スリープ] - [次の時間が経過後休止状態にする] をダブルクリックする。**

3 **項目を選択して設定内容を変更する。**

4 **[OK] をクリックする。**

Windows XP

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックする。**

2 **[ポータブル コンピュータを閉じたとき]／[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[スタンバイ]または[休止状態]を選び、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- Windowsのメニューを使ってスタンバイまたは休止状態に入る場合は、この設定は不要です。

使用上のお願い

- 長時間スリープ [*2] 状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スリープ [*2] 状態ではなく休止状態にしてください。
- スリープ [*2] または休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スリープ [*2] または休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- リジュームの際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。有効にするには、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューの「復帰時のパスワード」を「有効」または「自動」に設定してください。（➔109 ページ）

  Windows 7

  初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

  Windows XP

  Windows のパスワードをお使いになるには、以下の手順を実行してください。

  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックして、アカウントを選ぶ。
  ② [パスワードを作成する]をクリックし、パスワードを設定する。
  ③ [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]にチェックマークを付ける。
- 下記の場合は、スリープ [*2]・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スリープ [*2]・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。

- マルチメディアポケット状態表示ランプ *3、ドライブ状態表示ランプ、SD メモリーカード状態表示ランプの点灯中
- オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
- DVD-Video の再生中
- ディスクへの書き込み中
- 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
- 周辺機器の使用中（周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）

Windows XP

- PC カードの使用中（カードが正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）
- 外部マウスをシリアルコネクターに接続しているとき

Windows 7

- 休止状態に入るまで１～２分かかる場合があります。画面が暗くなっても、キーには触れないでください。

お願い

スリープ *2 や休止状態からリジュームする際に、3 回以上パスワードの入力に失敗したり、1 分以上パソコンから離れていたりすると、下記のようなことが起こる場合があります。

- 休止状態からリジュームするときにパスワードの入力に失敗した場合：
  - 再度リジュームする際に起動画面が表示されることがありますが、セットアップユーティリティの設定は変更しないでください。正常にリジュームできなくなることがあります。
  - Wake Up from LAN機能や、タスクスケジューラーまたはディスプレイ表示の操作で、休止状態からリジュームすることができなくなることがあります。
- スリープ*2からリジュームするときにパスワードの入力に失敗した場合：
  - スリープ*2からUSBデバイスを使ってリジュームできなくなることがあります。

*2 Windows XP: スタンバイ

*3 拡張バッテリーパックを使用している場合を除く

スリープ・休止状態に入る／リジュームする

■ スリープ*4・休止状態に入る

下記の操作でスリープ *4 または休止状態に入るには、まず電源オプション設定（➔14 ページ「スリープ・休止状態の設定」）を変更してください。[電源ボタンとカバーの設定]*5 で、スリープ *4 または休止状態に設定できます。

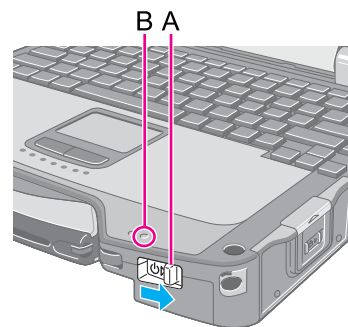
1 **ディスプレイを閉じるか、電源スイッチ（A）をスライドする。**

- 電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
  スリープ *4 状態：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
  休止状態：電源状態表示ランプが消える。
- Windowsのメニューを使ってスリープ*4・休止状態に入ることもできます。

  Windows 7

  （スタート）- をクリックし、[スリープ] または [休止状態]をクリックする。

  Windows XP

  スタンバイ状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] - [スタンバイ] をクリックしてください。休止状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] をクリックし、 **Shift** を押したまま [休止状態] をクリックしてください。

お願い

スリープ *4・休止状態処理中

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、タッチパネル、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

  電源状態表示ランプが緑に点滅（スリープ*4状態）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スリープ*4・休止状態に入るまで1～2分かかる場合があります。画面が暗くなっても、キーには触れないでください。
- すぐに電源スイッチを離してください。指を離した後、電源状態表示ランプが点滅するか消灯するまで、その操作は行わないでください。

  Windows 7

  電源スイッチを4秒以上スライドすると、パソコンが強制終了し、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [電源オプション] で [電源ボタンの動作の選択] を [電源ボタンを押したときの動作] のいずれかの項目に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。

  Windows XP

  電源スイッチを4秒以上スライドすると、[コンピュータの電源ボタンを押したとき] を [シャットダウン] に設定していたとしても、パソコンが強制終了し、保存されていないデータは失われます。（➔15ページ）

スリープ *4 または休止状態のとき

- マルチメディアポケット機器（拡張バッテリーパックを除く）や周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。

- スリープ*4状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スリープ*4機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。
- 無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。

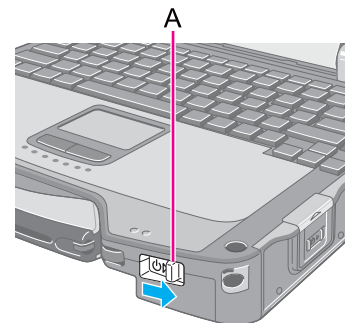
■ スリープ*4または休止状態からリジュームする

1 ディスプレイを開けるか、電源スイッチ（A）をスライドする。

Windows 7

- 初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

Windows XP

- [ポータブル コンピュータを閉じたとき]で[スタンバイ]または[休止状態]を選んだ場合（➔15 ページ）は、ディスプレイを開くとリジュームします。

お願い

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約15秒（通常）または60秒（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スリープ*4または休止状態に入る（約1分間お待ちください）
  - SD メモリーカードの取り付け／取り出し

Windows 7

- 外部キーボードやマウスを接続した状態で、パソコンがスリープ状態に入ったとき、外部キーボードのキーまたはマウスに触れると、リジュームします。

*4 Windows XP: スタンバイ

*5 Windows XP: [ポータブル コンピュータを閉じたとき] ／ [コンピュータの電源ボタンを押したとき]

消費電力を節約する

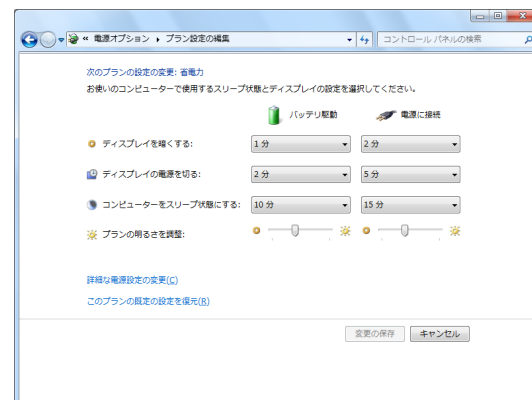
消費電力を節約することで、バッテリーでの動作時間が長くなります。AC アダプターを接続しているときも、省電力の効果があります。

無駄な電力を使わない

以下に示す方法で、消費電力を抑えることができます。

- **[電源オプション] を変更する**

  Windows 7

  (スタート) - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] をクリックして [省電力] を選択し、[プラン設定の変更] をクリックします。
  工場出荷時は [パナソニックの電源管理] に設定されていますが、[省電力] に変更することでさらに消費電力が節約できます。
  さらに、[ディスプレイの電源を切る] で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。

  Windows XP

  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックして、[電源設定] を [バッテリの最大利用] に設定します。
  工場出荷時は、[電源設定] は [ポータブル / ラップトップ] に設定されていますが、[バッテリの最大利用] に変更することで、さらに消費電力が節約できます。
  さらに、[モニタの電源を切る] で設定されている時間を短くするなど、使用状況に応じて詳細に設定してください。
- **その他の省電力機器で使う**

  [電源オプション] にはない機能をお使いいただけます。

  Windows 7

  電源プラン拡張ユーティリティを使う（➔20 ページ）

  Windows XP

  省電力設定ユーティリティを使う（➔21 ページ）
- **Fn + F1 で内部 LCD の明るさを暗くする**

  内部 LCD の明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
- **使わないときはパソコンの電源を切る**

  無線 LAN（無線 LAN 内蔵モデルのみ）、ワイヤレス WAN（ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ）または Bluetooth（Bluetooth 内蔵モデルのみ）の電源を個別に切ることもできます。（➔81 ページ）
- **使わない周辺機器（USB 機器、PC カード、外部マウスなど）は取り外す**

- **スリープ[*1]/ 休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間はなれるときは、 **Fn** + **F7** でスリープ[*1] 状態に、または **Fn** + **F10** で休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力が抑えられます。
  また、Wake Up from LAN 機能を使わない場合は、無効にしてください。スリープ[*1]/ 休止状態での消費電力を抑えることができます。
  現在の設定を確認するには、以下の手順を行ってください。
  Windows 7
  (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [電源プラン拡張ユーティリティ] をクリックし、[スリープ中の内蔵有線 LAN の電源] をダブルクリックする。
  Windows XP
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] をクリックし、[スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能] を確認する。

*1 Windows XP: スタンバイ

電源プラン拡張 ユーティリティを使う Windows 7

電源プランを調整し、必要に応じた消費電力に変更できます。

■ 設定方法

1 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [電源プラン拡張ユーティリティ] をクリックする。**

2 **[電源プラン]で省電力機能を連動させる電源プランを選択する。**

- 初期設定では、[パナソニックの電源管理] が選択されています。より効果的に電力を節約するには、[パナソニックの電源管理（省電力）] または [省電力] をアクティブにしてください。
  ① [電源プランを編集する]をクリックして、好みの電源プランを選択する。
  ② [アクティブにする]をクリックする。
- それぞれの電源プラ ンでのパソコンの動作については、項目の下に記載されています。
- 項目ごとに設定を変更することもできます。

3 **[適用]をクリックする。**

4 **[OK]をクリックする。**

省電力設定ユーティリティを使う Windows XP

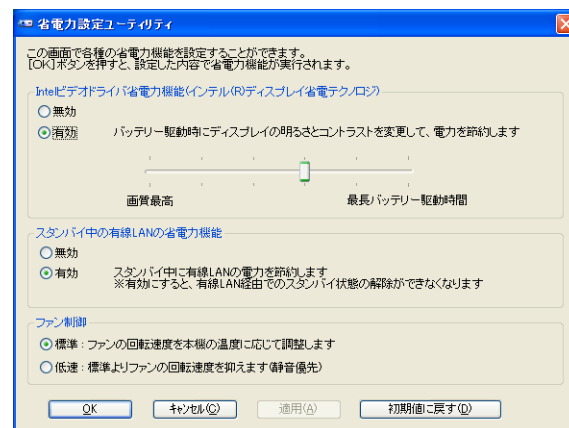
次の省電力機能を一度にまとめて設定することができます。バッテリー駆動時間を長くしたい場合は有効に設定してください。

- **Intel ビデオドライバ省電力機能（インテル (R) ディスプレイ省電テクノロジ）**
  画像のコントラストや色などを調整することにより、画質をある程度保った状態で内部 LCD の消費電力を抑えます。
  画像や色の微妙な表現力が必要な場合や画像編集用アプリケーションソフトで画像編集を行う場合は、無効に設定することをお勧めします。
- **スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能**
  [有効] の場合、Wake Up from LAN 機能を無効にして、スタンバイ / 休止状態での消費電力を抑えます。
  Wake Up from LAN 機能をお使いになる場合は、[無効] に設定する必要があります。
- **ファン制御**
  [低速] を選択し、電力を節約する。（お買い上げ時には [標準] に設定されています。）

■ 設定方法

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ]をクリックする。**

2 **設定したい機能の[有効]をクリックする。**
確認画面が表示されたら、内容を確認して[OK]をクリックしてください。
- **Intel ビデオドライバ省電力機能を有効にするには**
  [有効] をクリックしたら、スライドバーを [最長バッテリ駆動時間] 側に設定します。

3 **[OK]をクリックする。**
[初期値に戻す]をクリックして[OK]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

お知らせ

- [Intelビデオドライバ省電力機能]は、次の方法でも設定できます。
  ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックして、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Graphics and Media]をクリックする。
  ② アプリケーションモードを選択し、[OK]をクリックする。
  ③ [電源]をクリックする。
  ④ [最長バッテリー駆動時間]をクリックして、チェックマークを付ける。
  ⑤ [適用]をクリックして、[OK]をクリックする。
  ⑥ [OK]をクリックする。

  これで設定は完了です。再起動の必要はありません。
- Wake Up from LAN機能を無効にすることで、[スタンバイ中の有線LANの省電力機能]を有効にすることもできます。（➔78ページ）（再起動する必要はありません。）

セキュリティ機能

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  - 内蔵セキュリティ（TPM）（➔110 ページ）：詳しくは『取扱説明書 内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する。（➔100ページ）**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して Enter を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして Enter を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、Enterを押す。**
6. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

お願い

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

- パスワードは画面に表示されません。
- 数字の入力にテンキーは使用できません。
- 大文字、小文字は区別されます。
- パスワードの入力にCtrl は使用できません。
- パスワードの入力にAlt は使用しないでください。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1 **パスワードを設定し（➔23ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」と「復帰時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔109ページ）**

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。）

1 **セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔110ページ）**

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。（➔23ページ）
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - お客様ご相談センターにご相談ください。
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

インテル® アイデンティティー・プロテクション・テクノロジー（インテル® IPT）を使う

インテル® IPT は、第 2 世代インテル® Core™ vPro™ プロセッサー・ファミリーおよびインテル® Core™ プロセッサー・ファミリーを搭載したパソコンに組み込まれた機能で、6 けたのワンタイムパスワードを 30 秒ごとに生成します。このワンタイムパスワードを用いることで、不正アクセスなどを防止するためのより強固な二要素認証を行えます。
インテル® IPT をお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションおよびアプリケーションソフトが必要です。
ソフトウェアがインストールされているか確認するには、以下の操作を行ってください。

Windows 7
（スタート）- [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックする。

Windows XP
[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。

[Intel(R) Identity Protection Technology x.x.x.x] が表示されている場合はインストールされています。
表示されていない場合は、次の手順でインストールしてください。

1 **管理者のユーザーアカウントでログオンする。**

2 Windows 7
（スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索] に [c:¥util¥ipt]と入力して Enterを押す。

Windows XP
[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、[c:¥util¥ipt]と入力して[OK]をクリックする。

3 **「ipt」フォルダー内の [install] をダブルクリックする。**
使い方などについては、サービス事業者にお問い合わせください。

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ： 内蔵バッテリーパック、 拡張バッテリーパック

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅 *1	高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%*2 になるまで放電しています。（➔28 ページ）この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 ・内部の温度が充電可能範囲外になっている。 ・消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。
緑色とオレンジ色が交互に点滅	低温時にハードディスクが誤動作するのを防ぐため、ハードディスクをウォームアップしています。ウォームアップ後、パソコンは自動的に起動します。
オレンジ色がゆっくりと点滅	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「充電中バッテリー状態表示」が「明滅」に設定されています。

*1 内蔵バッテリーパックのみ
*2 高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時の 80% と同等です。

お知らせ

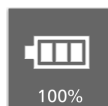
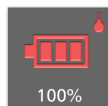
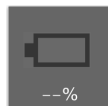
- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%未満になるまで再充電されません。
- 「Concealed モード設定」で「LED」を「オフ」に設定しているときは、バッテリー状態表示ランプは点灯（または点滅）しません（➔104ページ）。

バッテリー残量を確認する

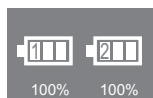
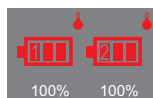
バッテリー残量を画面上で確認できます。

（Windows にログオンした後）

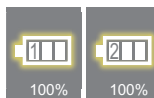
1 **Fn+F9を押す。**

- バッテリーパック装着時（例）

：常温モード時（➔28ページ）

：高温モード時（➔28ページ）

- バッテリーパック未装着時

<拡張バッテリーパック使用時のみ>

- バッテリーパック装着時（例）

：常温モード時（➔28ページ）

：高温モード時（➔28ページ）

- バッテリーパック未装着時

- バッテリーパック放電時（AC アダプター未装着時）

：黄色の枠で囲まれているのが、放電しているバッテリーです。

左：内蔵バッテリーの残量
右：拡張バッテリー（別売り）の残量

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔30ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
  （ACアダプターから電力の供給がないまま長時間スリープ[*3]状態にしていると、このような状態になる場合があります。）
- バッテリーの残量表示が画面右下の通知領域の表示[*4]と異なる場合がありますが、故障ではありません。

[*3] Windows XP: スタンバイ

[*4] Windows XP: または [電源オプションのプロパティ] の [電源メーター]

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔103 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

バッテリー残量が10%になったら [バッテリー低下アラーム]	バッテリー残量が5%になったら [バッテリー切れアラーム]
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	**Windows 7** ● パソコンは休止状態に入ります。 **Windows XP** ● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示し、その後休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です。	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了して電源状態表示ランプが消えていることを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、バッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 **Windows 7** バッテリーが充電されるかバッテリーを交換するまでは休止状態からリジュームしないでください。 **Windows XP** バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなかったり、アラーム機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1 AC アダプターを接続する。

2 すべてのアプリケーションソフトを終了する。

3 バッテリー残量表示補正を実行する。

① (スタート)[*5]- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ] をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

*5 Windows XP: [スタート]

お知らせ

- 10℃～30℃の温度環境で実行してください。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：約3.5時間（最大）
  - 完全放電にかかる時間：約3時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電、または誤ってACアダプターやバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。
  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間に**F9**を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら**Enter**を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しい物と交換してください。
必要な場合は、拡張バッテリーパックをマルチメディアポケットに取り付けてください。（➔42 ページ）

お願い

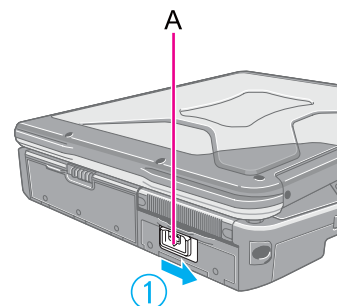
- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スリープ*6状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

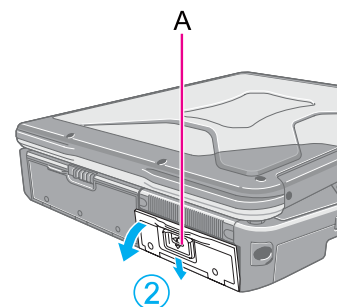
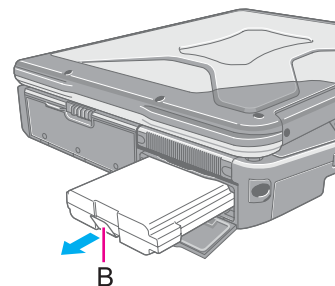
1 パソコンの電源を切る。

- スリープ *6 機能は使わないでください。

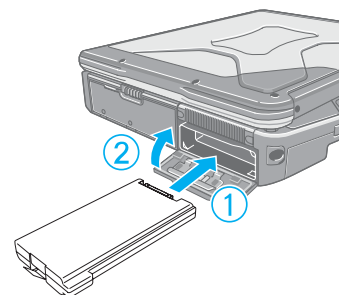
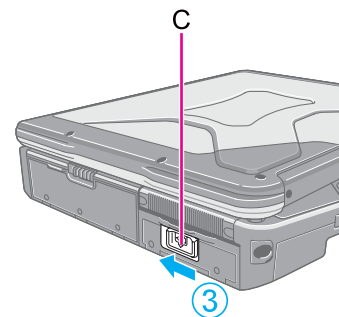
2 バッテリーパックを取り外す／取り付ける。

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

*6 Windows XP: スタンバイ

③ バッテリーパックのタブ（B）を引いてスロットから取り出す。

● 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じる。

③ ラッチ（C）を左にスライドして、カバーをロックする。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2011 年 6 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、画面右下に PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

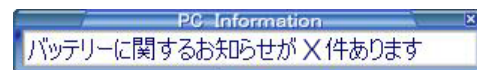
1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**
バッテリーに関する情報の自動表示機能が有効になります。
以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

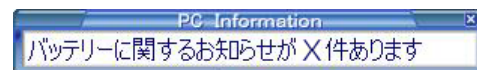
お知らせ

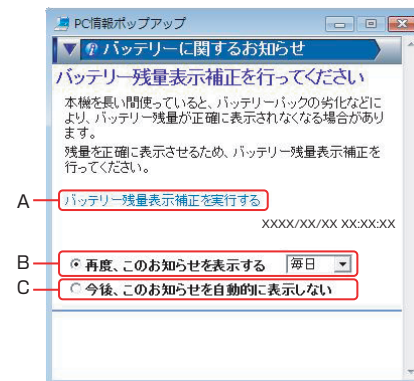
- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

バッテリーに関する情報を確認する

PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、次の場合に[バッテリーに関するお知らせがX件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**

2 **詳細を確認する。**

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

（画面は一例です）

3 **[×]をクリックし、ウインドウを閉じる。**

お知らせ

- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) [*1]- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況]をクリックする。
  ③ [満充電容量]の値を確認する。

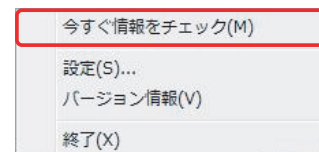
  購入時の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) [*1] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をダブルクリックする。
  ④ [Portable Battery 1] または [Portable Battery 2] をダブルクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
  以下の場合には、値が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンを再起動した後確認してください。
  - セットアップユーティリティで「環境」の設定を変更した場合
  - バッテリーパックがセットされていない状態でパソコンを起動した場合
  - 起動後にバッテリーパックを入れ替えた場合
- バッテリー容量を計測し、記憶／学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする] にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、バッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、「バッテリーパックを交換する」（➔31ページ）をご覧ください。

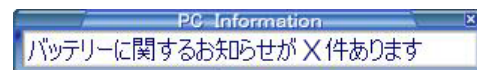
[*1] Windows XP: [スタート]

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1 **画面右下の通知領域にある をクリックし または を右クリックする。**

2 **[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**
小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

今すぐ情報をチェック(M)
設定(S)...
バージョン情報(V)
終了(X)

3 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**
画面右下に表示されます。

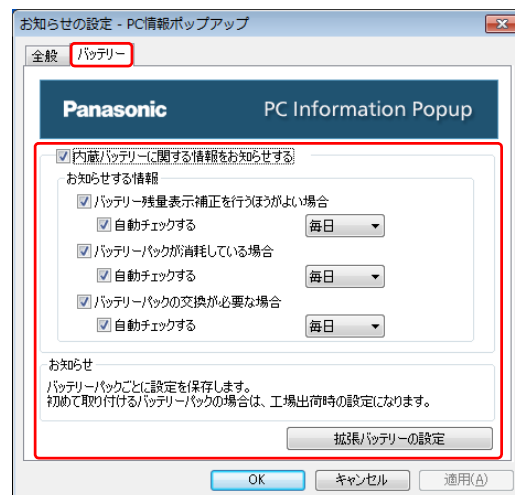
PC Information
バッテリーに関するお知らせが X 件あります

4 **詳細を確認する。**

設定を変更する

各お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1. **画面右下の通知領域にあるをクリックしまたはを右クリックする。**
2. **[設定] をクリックする。**
3. **[全般]または[バッテリー] タブを選び、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。**
4. **設定が終わったら [OK] をクリックする。**

- **[全般]**
  すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下の通知領域のがに変わるだけになります。
  [小ポップアップによる通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
  チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
  - [自動的に消す]
    小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
  - [アイコンの点滅による通知]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下の通知領域のPC情報ポップアップアイコンが点滅します。
  - [効果音による通知]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

- **[バッテリー]**
  バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。
  [内蔵バッテリーに関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、内蔵バッテリーに関する情報が表示されます。チェックマークを外すと、内蔵バッテリーに関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」(➔40ページ）をご参照ください。
  - [お知らせする情報]
    各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリーに関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
  - [自動チェックする]
    チェックマークを付けると、定期的にバッテリーに関する情報があるか自動的にチェックします。
    チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
    [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。
  - [拡張バッテリーの設定]
    拡張バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

お知らせ

- バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
  バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔40ページ）をご参照ください。
- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔34ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下の通知領域のをクリックしたときに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されます。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報があります。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、(スタート)[*2]- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」(➔38ページ)をご覧になり、[バッテリーに関する情報をお知らせする] にチェックマークを付けてください。

[*2] Windows XP: [スタート]

電源設定をカスタマイズする

Windows 7

電源プランを選定して、操作環境に最も適した電源設定を選択できます。ユーザー固有の電源プランを作成することもできます。

電源プランの設定を変更する

1. 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。
2. 変更したい電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
3. 設定を変更する。
   - [詳細な電源設定の変更]：より詳細な設定をすることができます。
4. [変更の保存] をクリックする。

ユーザー固有の電源プランを作成する

1. 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。
2. [電源プランの作成] をクリックし、プラン名の入力欄をクリックして、作成する電源プランの名前を入力する。
3. [次へ] をクリックする。
4. 各項目を設定し、[作成] をクリックする。
   - 設定内容の変更、またはより詳細な設定をするには、上記の「電源プランの設定を変更する」をご参照ください。

電源プランを削除する

1. 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。
2. 削除したい電源プラン以外の電源プランをクリックする。
3. 削除したい電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
4. [このプランを削除] をクリックし、確認の画面で [OK] をクリックする。

マルチメディアポケット

次の機器を装着することができます。
- DVD MULTI ドライブパック（別売り）
- 拡張バッテリーパック（別売り）

お願い

- スリープ[*1]・休止状態中や、マルチメディアポケット状態表示ランプまたはドライブ状態表示ランプ点灯中は、マルチメディアポケット機器の取り付け・取り外しを行わないでください。

お知らせ

- 最新の製品情報についてはカタログなどをご覧ください。
- 各機器の取扱説明書をよくお読みください。

[*1] Windows XP: スタンバイ

マルチメディアポケット機器の取り付け／取り外し

1 マルチメディアポケット機器の停止処理を行う。

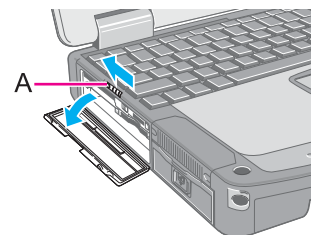
Windows 7

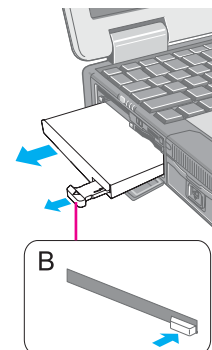
① 画面右下の通知領域にあるをクリックしをクリックする。
② [TEAC DV-W28XXXを安全に取り外します]をクリックする。
③ マルチメディアポケット状態表示ランプまたはドライブ状態表示ランプが消えていることを確認する。

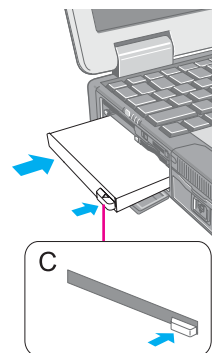
Windows XP

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。
② [TEAC DV-W28XXX]を選択し、[停止]をクリックする。
③ 画面の指示に従って操作を行う。
④ マルチメディアポケット状態表示ランプまたはドライブ状態表示ランプが消えていることを確認する。

- 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - またはが表示されていないとき
  - 手順 ② で、取り外す機器が一覧にないとき
  - 拡張バッテリーパックを取り外すとき

2 **ラッチ（A）をスライドしてカバーを開ける。**

3 **取り出しハンドル（B）を押す。**
取り出しハンドルが出てきます。

4 **取り出しハンドル（B）を引いて機器を途中まで引き出し、機器の両側面を持って最後まで引き出す。**

5 **機器の両端を押しながら、奥までしっかりとマルチメディアポケットに挿入する。**
- 取り出しハンドル（C）を押し込んでください。
- ラベル面を上にして機器を挿入してください。

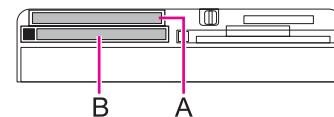
6 **カチッと音がするまでカバーを閉じる。**

お願い

- 機器は両側面を持ってください。他の部分を持つと、機器が損傷する可能性があります。
- パソコンのマルチメディアポケット側を持ち上げて、傾けた状態で機器を挿入する場合は、衝撃を与えないよう注意してください。

お知らせ

- または をダブルクリックするか、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➔101ページ）を見ると、機器が認識されたかどうか確認することができます。拡張バッテリーパックを使用しているときは、Fn+F9を押してください。機器が認識されない（またはメディアにアクセスできない）場合は、パソコンの電源を切り、機器を挿入し直してください。

次のカードを挿入することができます。

- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカード内蔵モデルの場合（➔50 ページ）

お知らせ

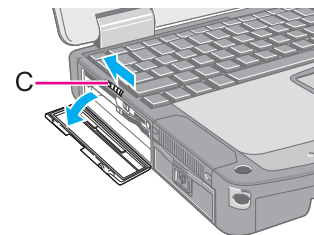
- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZVカード、SRAMカード、FLASH ROMカード（ATAインターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧12Vを必要とするカード
- ストレージタイプのCardBus PC カードを取り付けた状態で Windows を起動しないでください。エラーの原因になります。

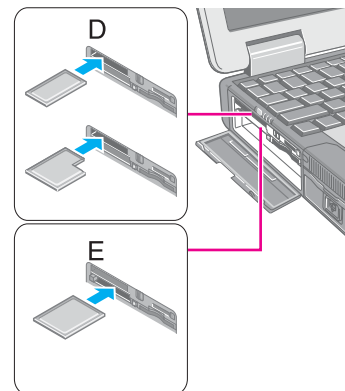
カードの取り付け／取り出し

準備

- カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

■ カードを取り付ける

1 ラッチ（C）をスライドしてカバーを開ける。

2 **カードのラベル面を上にして、エクスプレスカード（上スロット）（D）またはPCカード（下スロット）（E）を、スロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。

■ カードを取り出す

1 **カードの停止処理を行う。**

Windows 7

① 画面右下の通知領域にある をクリックし をクリックする。
② カードを選択する。

Windows XP

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、カードを選択して[停止]をクリックする。
② 画面の指示に従って操作を行う。

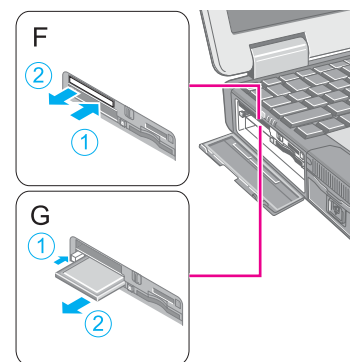
- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カバーを開けて、カードを取り出す。**

- エクスプレスカード（F）

① カードを押す。
スロットからカードが少し出てきます。
② カードをまっすぐ引き抜く。

- PC カード（G）

① 取り出しボタンを押す。
スロットからカードが少し出てきます。
② カードをまっすぐ引き抜く。

お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スリープ[*1]・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。
- カード挿入時は、電力消費量が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー駆動で操作しているときは、PCカードを取り外しておいてください。
- PCカードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSIなど）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

[*1] Windows XP: スタンバイ

SDメモリーカードについて

- 本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2 GB を超える容量を持つ SD メモリーカード)、SDXC メモリーカード*1（32GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き))。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

*1　Windows 7 のみ

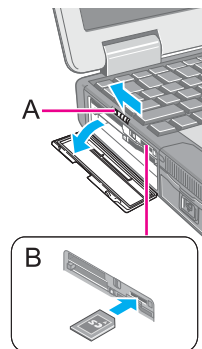
SDメモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スリープ*2または休止状態のとき
  - SDメモリーカード状態表示ランプ[SD]が点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなったりするおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スリープ*2・休止状態からリジュームした後、約30秒間はSDメモリーカードにアクセスしないでください。

*2　Windows XP: スタンバイ

■ カードを取り付ける

1 ラッチ（A）をスライドしてカバーを開け、カードのラベル面を上にして、角が欠けた方（B）から挿入する。

■ カードを取り出す

準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- SD メモリーカード状態表示ランプ SD が消えていることを確認してください。

1 カードの停止処理を行う。

Windows 7

① 画面右下の通知領域にある をクリックし をクリックする。

② カードを選択する。

Windows XP

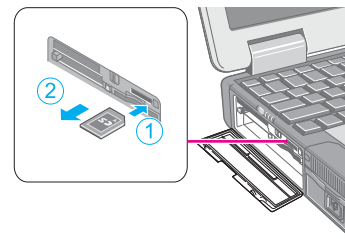
① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックして、[SD 記憶装置デバイス]をクリックし、[停止]をクリックする。

② 画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 カードを取り出す

① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

スマートカード

< スマートカードスロット内蔵モデルのみ >
スマートカードを使用するには、アプリケーションソフトが必要です。

お願い

- スマートカードの取り扱いの際は、次のことを行わないでください。
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 指や金属で接触部に触れる
  - 温度の高いところに長時間カードを放置する
  - 取り付けてすぐにカードを取り出す

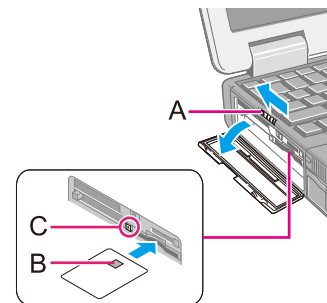
スマートカードの取り付け／取り出し

■ カードを取り付ける

1 ラッチ（A）をスライドしてカバーを開け、接触部分（B）を前にして、カードを挿し込む。
- スロットの奥までしっかりと挿し込んでください。

■ カードを取り出す

1 取り出しボタン（C）を押す。
- カードがスロットから出てきます。

2 カードをまっすぐ引き抜く。

お願い

- カードの取り出しには、取り出しボタンを使用してください。無理にカードを引き抜くと、スロットが傷つく場合があります。

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

- RAM モジュール仕様：
  204 ピン、SO-DIMM、1.5 V、DDR3 SDRAM、PC3-10600
  （推奨品については、当社の最新のカタログやホームページでご確認ください。）

お願い

- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け・取り外しの際には、本体内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になったりします。

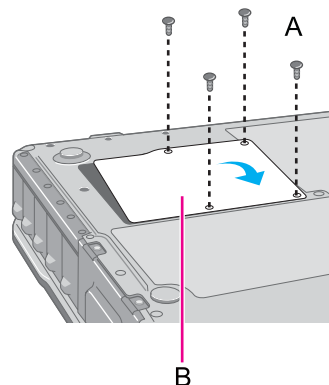
RAMモジュールの取り付け／取り外し

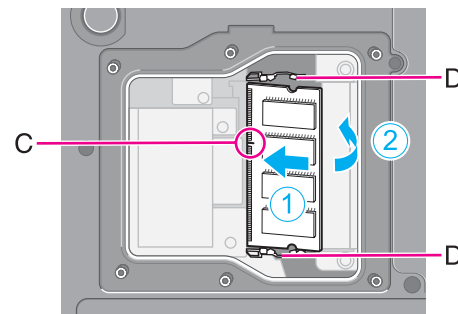
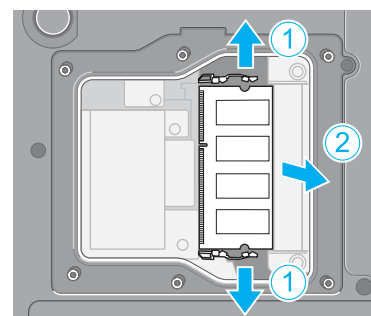
1 **パソコンの電源を切る。**

- スリープ [*1] 機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。(➔31ページ)**

- マルチメディアポケットに拡張バッテリーパックが取り付けられている場合は、拡張バッテリーパックも取り外してください。

3 **パソコン底面のネジ（A）とカバー（B）を取り外す。**

4 RAMモジュールを取り付ける／取り外す。

- 取り付けるには
  ① 切り込み部（C）と突起部の位置を合わせ、モジュールを少し傾けてスロットに挿入する。
  ② 左右のフック（D）でロックされるまでモジュールを倒す。

- 取り外すには
  ① 左右のフック（D）をゆっくり開く。
  モジュールが持ち上がります。
  ② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

5 カバーとバッテリーパックを取り付ける。

*1 Windows XP: スタンバイ

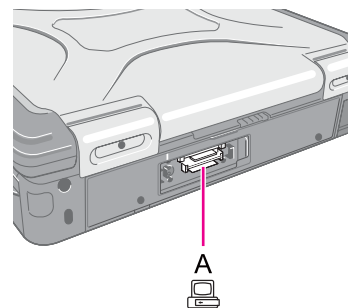
お願い

- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

お知らせ

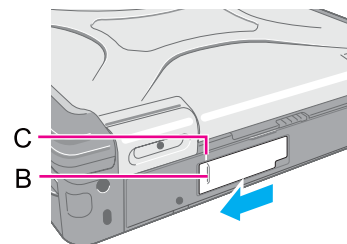
- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAMモジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューにメインユニットとRAMの合計メモリーサイズが表示されます。(➔101ページ)
  RAMモジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

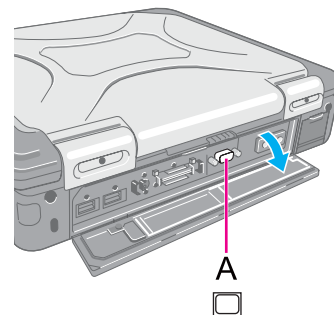
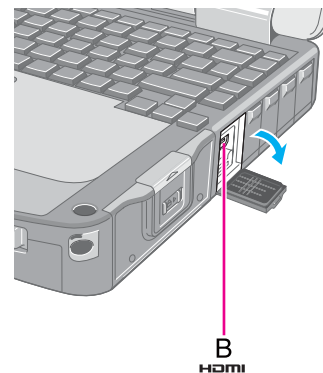
ポートリプリケーター

本機をポートリプリケーター（別売り）に取り付けることで複数のケーブルを携帯せずにパソコンを持ち運んだり、さまざまな周辺機器と接続したりすることができます。
ポートリプリケーターを、後側にある拡張バスコネクター (A) に接続してください。
詳しくはポートリプリケーターの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- スライドカバーが完全に開いているか確認してください。
- ポートリプリケーターが熱くなっているときは、取り付け／取り外しを行わないでください。
- ポートリプリケーターで周辺機器を接続し、1280×1024か1440×900またはそれ以上の解像度を選択している場合、外部ディスプレイの文字がぼやけることがあります。その場合は、解像度を下げてください。
- パソコンをUSBフロッピーディスクまたは、USB CD/DVDドライブから起動するときは、USBドライブをパソコン本体のUSBポートに接続してください。ポートリプリケーターのUSBポートには接続しないでください。

お知らせ

- 拡張バスコネクターを使わないときは、（B）の部分と（C）の部分の位置を合わせ、スライドカバーを閉じてください。

外部ディスプレイ

画面の表示先を外部アナログディスプレイに切り替えることができます。
カバーのラッチをスライドし、カバーを開けます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

画面の表示先を外部 HDMI ディスプレイに切り替えることができます。
カバーを下方へスライドして開き、HDMI ディスプレイを HDMI ディスプレイコネクター (B) に接続します。

表示先を切り替える

Windows 7

1 ⊞ + P または Fn + F3 を押す。

2 表示モードをクリックする。

Windows XP

1 Fn + F3 を押す。

押すたびに、以下のように切り替わります。

→ LCD → LCD + HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）*1
→ HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）*1 → LCD + HDMI ディスプレイ（パソコン側）
→ HDMI ディスプレイ（パソコン側）→ LCD + アナログディスプレイ → アナログディスプレイ
→ HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）*1 + HDMI ディスプレイ（パソコン側）
→ HDMI ディスプレイ（ポートリプリケーター側）*1 + アナログディスプレイ
→ HDMI ディスプレイ（パソコン側）+ アナログディスプレイ

*1 HDMI 端子付きのポートリプリケーター接続時のみ

お知らせ

- Windowsが起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。Fn + F3を押すと、外部ディスプレイまたは内部LCDに切り替わります。
- スリープ*2・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スリープ*2・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先を⊞ + P*3または Fn + F3で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- スリープ*2・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスポインターが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されなかったりする場合があります。
- ディスプレイを閉じると、画面の表示先が切り替わる場合があります。

- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
  プラグアンドプレイに対応していない外部アナログディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、モニターに付属のドライバーディスクを使用してください。

  Windows 7

  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [画面の解像度の調整] - [詳細設定] - [モニター] - [プロパティ]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力します。

  ② [ドライバー] - [ドライバーの更新] をクリックする。

  Windows XP

  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] をクリックする。

  ② [ドライバ] - [ドライバの更新] をクリックする。

Windows XP

- [コマンドプロンプト] を全画面表示にしているときは、表示先を切り替えることができません。

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、⊞ + P*3 または Fn + F3を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、⊞ + P*3 または Fn + F3を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

*2 Windows XP: スタンバイ

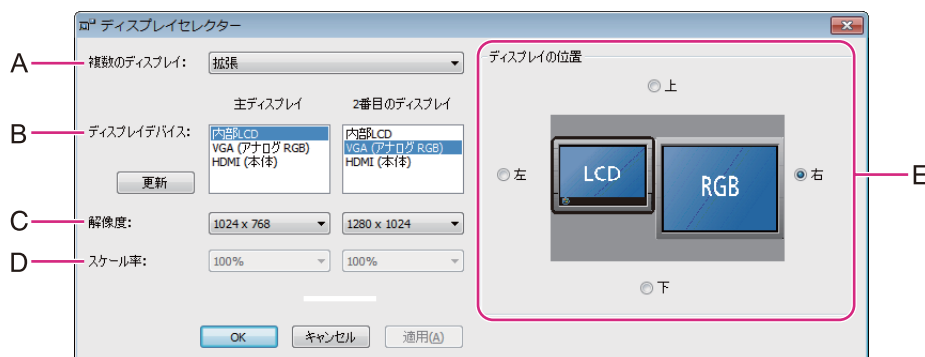
*3 Windows 7 のみ

ディスプレイセレクター

外部ディスプレイ接続時には、同時表示および拡張デスクトップモードがご使用になれます。
拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイ、または外部ディスプレイ間をひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイ、または外部ディスプレイ間に渡って対象をドラッグすることができます。

ディスプレイセレクターを使うと、同時表示や拡張デスクトップモードの有効 / 無効を簡単に切り替えることができます。
HDMI ディスプレイのスケール率を設定することもできます。

1 **(スタート)[*4] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ディスプレイセレクター]をクリックする。**

2 **設定を行う。**

A [複数のディスプレイ]
1つのディスプレイのみ有効にするには、[シングルディスプレイ] を選択してください。
拡張デスクトップモードを有効にするには、[拡張] を選択してください。
２つのディスプレイを有効にするには、[複製] を選択してください。
上記の選択をして[適用] をクリックすると、以下の設定ができます。

B [ディスプレイデバイス]
[複数のディスプレイ] で、[拡張] または[複製] を選択しているときは、主ディスプレイおよび2番目のディスプレイに使用するディスプレイをそれぞれ選んでください。
[シングルディスプレイ] を選んでいるときは、主ディスプレイに使用するディスプレイのみ選択できます。

C [解像度]
ディスプレイの解像度を選択してください。
[複数のディスプレイ] で[拡張] を選択しているときは、主ディスプレイと2番目のディスプレイの解像度をそれぞれ選択することができます。

D [スケール率]
スケール率を90%、95%、97%、100%のいずれかに設定してください。
[複数のディスプレイ] が[シングルディスプレイ] に設定されているときに、スケール率を変更することができます。

E [ディスプレイの位置]
[複数のディスプレイ] で[拡張] を選択しているときは、[上] [下] [左] [右] のいずれかを選んで、2番目のディスプレイの位置を指定します。
黒枠およびタスクバー付きで表示されるのが主ディスプレイで、もう一方が2番目のディスプレイです。

3 **[適用]をクリックして、設定を有効にする。**

4 **[OK]をクリックする。**

*4 Windows XP: [スタート]

お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウインドウをもう 一方のディスプレイに移動することはできません。
- 外部アナログディスプレイと外部HDMIディスプレイの両方を接続しているときに、[拡張] または[複製] を選択すると、3つの出力先（内部LCD、外部アナログディスプレイ、外部HDMIディスプレイ）の中から主ディスプレイと2番目のディスプレイを選ぶことができます。この場合、外部アナログディスプレイはPCモニター、外部HDMIディスプレイはデジタルテレビとして認識されます。
- タッチパネルを使用しているときは、内部LCD を主ディスプレイとして設定してください。内部LCD に触れると、主ディスプレイ上でポインターが動きます。

音声の出力先を変更する

HDMI ディスプレイが接続されている場合、音声の出力先をパソコン本体のスピーカー、または HDMI ディスプレイのスピーカーに設定できます。
HDMI ディスプレイにスピーカーが付いているか確認してください。

Windows 7

1 **(スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] をクリックする。**

2 **音声の出力先を選択する。**

3 **[既定値に設定]をクリックし、[OK]をクリックする。**

Windows XP

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [サウンド、音声、およびオーディオ デバイス] - [サウンドとオーディオ デバイス] - [オーディオ]をクリックする。**

2 **[既定のデバイス]で音声の出力先を選択する。**

3 **[OK]をクリックする。**

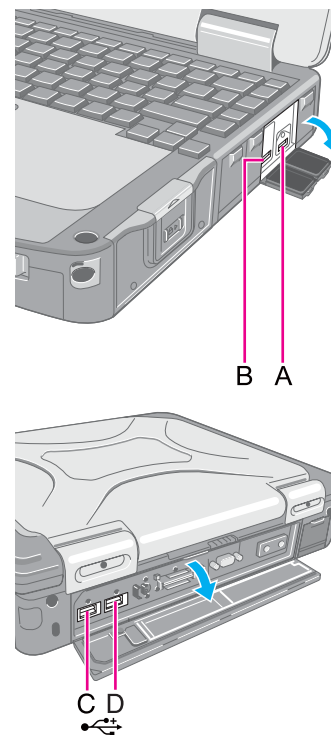
USB機器の取り付け／取り外し

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

■ USB機器を取り付ける

1 **カバーを開け、USB機器をUSBポート（A、B、C、Dのいずれか）に接続する。**

詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USB機器を取り外す

1 **USB機器の停止処理を行う。**

Windows 7

① 画面右下の通知領域にある［▲］をクリックし［アイコン］をクリックする。

② USB機器を選択する。

Windows XP

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。
② USB機器を選んで[停止]をクリックする。
③ 画面の指示に従って操作を行う。

- 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - または が表示されていないとき
  - 手順 ② で、取り外す機器が一覧にないとき

2 USB機器を取り外す。

お願い

Windows XP

< スマートカード内蔵モデルのみ >

- をダブルクリックしたときに [USB Smart Card Reader] が一覧に表示されますが、これは選択しないでください。取り外しはできません。選択してしまった場合は、パソコンを再起動してください。

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB機器が接続されていると、スリープ[*1]機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- パソコンの電源が入っているときにUSB機器を抜き挿しすると、 または がデバイスマネージャーに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー駆動で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

Windows 7

- 外部キーボードやマウスを接続した状態でパソコンがスリープ[*1]または休止状態に入ったとき、外部キーボードのキーまたはマウスに触れると、パソコンはリジュームします。

*1 Windows XP: スタンバイ

< 指紋センサー内蔵モデルのみ >

お知らせ

- 指紋の特徴や状態により、登録および認証ができない場合があります。

指紋センサーを使うには

指紋を登録・認証するときは、以下のように行ってください。

1 **指をスライドさせる。**

- 読み取りエラーを防ぐには

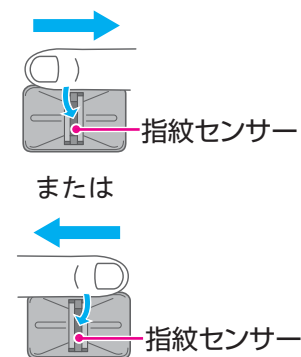
①指の第一関節から上の部分をセンサーの上に置く。(右図参照)

②第一関節から指先までが指紋センサーの上を通るように指をスライドさせる。

• 左右どちらからスライドさせても読み取れます。

③センサーが指紋を認証するまで、指を繰り返しスライドさせる。

- 以下のような場合は、指紋の登録・認証ができないことがあります：
  - 指をスライドするのが速すぎる、または遅すぎる
  - 指が汚れている、または指に傷がある
  - 指がぬれている、または極度に乾いている
  - 指紋に個人を特定するための十分な情報がない

  詳しくは、「指紋センサー」(➔142 ページ)をご参照ください。

お願い

- 指紋センサーを使わないときは、保護のためカバーを閉じてください。
- 指紋センサーの誤った使用から生じる損失や故障、または指紋センサーの不具合などによるデータ消失に対して、当社は一切責任を負いません。

概要

指紋認証について

従来のセキュリティシステムでは、ユーザーを認証するために、ID・パスワードや IC カードなどを使用します。しかしこれらでは、紛失や盗難、ハッキングの危険があります。
指紋認証は、指紋をパスワードに使う方法です。パソコンをスタートさせたり Windows にログオンしたりするために、自分の指紋を使うことができます。
TPM（内蔵セキュリティチップ）と組み合わせて指紋センサーを使用することにより、お使いのパソコンのセキュリティレベルを高くすることをお勧めします。

インストール手順

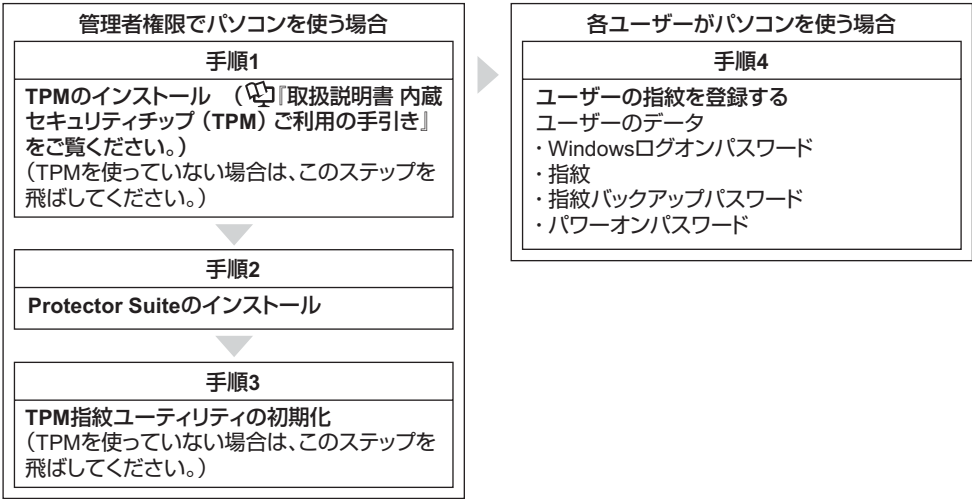
管理者権限でパソコンを使う場合

手順1
TPMのインストール （『取扱説明書 内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。）
（TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

手順2
Protector Suiteのインストール

手順3
TPM指紋ユーティリティの初期化
（TPMを使っていない場合は、このステップを飛ばしてください。）

各ユーザーがパソコンを使う場合

手順4
ユーザーの指紋を登録する
ユーザーのデータ
・Windowsログオンパスワード
・指紋
・指紋バックアップパスワード
・パワーオンパスワード

■ ヘルプにアクセスするには

本書は、手順 2、3 および手順 4 の最初の部分を記載しています。
詳しくは、Protector Suite のヘルプメニューをご覧ください。

- （スタート）[*1] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [ヘルプ] をクリックする。

[*1] Windows XP: [スタート]

使用上のお願い

■ セキュリティ機能について

- 指紋認証機能は、本人認証と識別を完全に保証するものではありません。指紋認証を使ったこと、または使えなかったことにより発生した損害については、当社では一切責任を負いかねます。
- 指紋認証方法は、複数の指紋、暗号化キー、証明データ、パスワードを使います。指紋が使用できなくなったり、暗号化キー、証明データ、パスワードを失ったりすると、データを使うことができません。指紋認証データは安全な場所にバックアップしてください。詳しくは、「バックアップ」（➔68 ページ）をご覧ください。
- 他社製アプリケーションソフトとの相互運用への保証はありません。

インストール

1 TPM をインストールする。

『取扱説明書 内蔵セキュリティチップ （TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

Windows 7

- （スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索] に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、**Enter** を押す。

Windows XP

- [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、[OK] をクリックする。

2 Protector Suite をインストールする。

① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

② 他のプログラムを閉じる。

③ Windows 7
<32ビットOS>
（スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥drivers¥fngprint¥install¥32-bit¥Setup.exe」と入力して、Enter を押す。
<64ビットOS>
（スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥drivers¥fngprint¥install¥64-bit¥Setup.exe」と入力して、Enter を押す。
Windows XP
[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥fngprint¥install¥32-bit¥Setup.exe」と入力して、[OK]をクリックする。
④ [次へ] をクリックする。
インストールが始まります。画面の指示に従ってください。
⑤「Protector Suite *.*は正常にインストールされました。」が表示されたら、[完了] をクリックする。
確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてください。
パソコンが再起動します。
⑥ 管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンする。
画面右下の通知領域に （Protector Suite）が表示されます。
• 表示されない場合は、 をクリックしてください。

3 TPM 指紋ユーティリティを初期化する。

管理者のユーザーアカウントでログオンしてください。
画面右下の通知領域の （Protector Suite）をクリックすると、メッセージが表示されます。
• 表示されない場合は、 をクリックしてください。
● TPM を使っていない場合は、この手順は不要です。
① メッセージをクリックし、[初期化] をクリックする。
以降、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

● 「無効な TPM 状況」のメッセージが表示されない場合は、下記の操作を行ってください。
① （スタート）[*2] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [設定] - [詳細設定] - [信頼化プラットフォームモジュール (TPM)] - [初期化] をクリックする。
② （スタート）[*2] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [認証] - [複数要素] をクリックし、認証の方法を選択する。

4 ユーザーの指紋登録をする。

それぞれのユーザーで行ってください。

① （Protector Suite）をダブルクリックする。
② ライセンス同意文をよく読み、[受け入れる] をクリックする。
③ 登録モードを選び、[適用] をクリックする。

- 登録モードの設定
  ここでは、登録の設定を一度だけ行えます。
  - バイオメトリックスデバイスへの登録
    指紋データは直接指紋センサーに登録されます。指紋センサーに内蔵されたハードウェア保護機能により登録データは安全に保管されます。
  - ハードディスクへの登録
    指紋データはハードディスクに保存します。ハードウェア保護機能は利用できませんが、登録できる指紋の数に制限はありません。
- 画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 少なくとも 2 本の指を登録してください。1 つのデータが破損した場合でも、別の登録データでアカウントとシークレットデータにアクセスすることができます。登録について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔62 ページ）および「チュートリアル」（下記の方法でアクセスできます）をご覧ください。
  - （スタート）[*2] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [ヘルプ] - [チュートリアル] をクリックする。

- パワーオンセキュリティを使うことをお勧めします。この機能は、ユーザーのパソコンが不正にアクセスされることをBIOSレベルで防ぎます。

① （スタート）[*2] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] をクリックする。
② [認証] - [状況] をクリックする。
③ [パワーオンセキュリティの状態] - [変更] をクリックする。
④ [編集] をクリックし、[パワーオンセキュリティの有効化] にチェックマークを付けて、[適用] をクリックする。
⑤ [認証] - [パワーオンパスワード] をクリックする。
⑥ [パワーオンパスワード] 画面が出たら、[パスワードの管理] をクリックする。
⑦ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] をクリックし、[パスワードの設定] をクリックする。
⑧ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。
⑨ [閉じる] をクリックする。
⑩ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] にチェックマークを付ける。
⑪ パスワード（手順⑧）を入力し、[OK] をクリックする。
⑫ [適用] をクリックする。

[*2] Windows XP: [スタート]

セキュリティレベルをさらに高くする

BIOS レベルの設定により、パソコンのセキュリティレベルをさらに高めることができます。
セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに「指紋認証セキュリティ」があります。「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ以下の項目を変更することができます。

項目	設定
設定サブメニュー保護 • サブメニューの表示 / 非表示および有効 / 無効を切り替えることができます。	保護しない 保護する
パワーオンセキュリティ • パワーオンセキュリティの有効 / 無効を切り替えます（➔66 ページ）。 Protector Suite の [パワーオンセキュリティの有効化] を無効に設定すると、セットアップユーティリティの「パワーオンセキュリティ」を「有効」に設定しても、パワーオンセキュリティは働きません。	無効 有効

上手にお使いいただくために

バックアップ

指紋データや認証情報などは、パスポートというファイルに記録されます。アクシデントによるデータ消失を防ぐために、このパスポートファイルをリムーバブルディスクやネットワークドライブなど、安全な場所に定期的にバックアップされることをお勧めします。内部ハードディスクに保存すると、指紋認証セキュリティの安全性が低くなります。
また、バックアップパスワードがあれば、いざというときに指紋認証を回避することができます。「ユーザー登録」ウィザードを使ってバックアップパスワードを設定されることをお勧めします。バックアップパスワードを設定しなかった場合は、認証機器の故障によるデータ消失のおそれがあります。

- 各ユーザーが使用するファイル
  - ユーザーパスポートデータのバックアップ
    （初期名：< ユーザーアカウント >.vtp）
    埋め込み指紋認証チップやハードディスクドライブの交換、または Windows の再インストールを行った場合にこのファイルが必要です。
    パスポートファイルには、指紋、暗号化キー、ログオン認証のデータが含まれています。

お知らせ

- バックアップするには
  ユーザーデータを保存するために [認証] の [アカウント操作] を選んでください。
  - （スタート）[*3] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [認証] - [アカウント操作] をクリックする。
    詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  - （スタート）[*3] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [ヘルプ] をクリックする。

- 各ユーザーが使うパスワード
  - 登録のためのバックアップパスワード
    バックアップパスワードは、機器の故障などのとき指紋認証を回避するのに役立ちます。

お願い

- その他のパスワードも、セキュリティに使用しますので、消失しないようにしてください。詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  - （スタート）[*3] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [ヘルプ] をクリックする。

[*3] Windows XP: [スタート]

使用制限

- パスワードバンク [*4] 制限：以下の Web ページはサポートされません。
  以下の技術で作成された Web ページ
  - Java スクリプトを使って自動生成された Web フォーム。
  - 1 つのフォーム（ログインフィールド、パスワードフィールドなど）に見えるが、内部的には 2 つの独立したフォームで作成された Web フォーム。
  - 送信ボタンのない Web フォームでは自動送信のトラブルが起きる場合があります。**Enter** で送信できないすべてのフォームでは、パスワードバンクで入れますが、送信はできません。
- パスワードバンク [*4] 制限：以下の Windows アプリケーションはサポートされません。
  - 標準の Windows コントロールを使わず、独自のコントロールで作成されたアプリケーション。
  - Java ベースのアプリケーションを含むもの。

*4 この機能については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  - （スタート）[*5] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [ヘルプ] をクリックする。

- 「センサースクロール機能」はサポートしていません。

*5 Windows XP: [スタート]

指紋センサーの取り扱いについて

- 登録と認証の感度は、以下のような状況によって変化します。センサー表面の汚れや湿気を乾いた柔らかい布でふき取ってください。
  - 指紋センサー表面が、ゴミ、皮脂油、汗などで汚れている
  - 指紋センサー表面が、湿気や結露によって湿っている
- 静電気によってセンサーが誤動作する場合があります。指紋センサーに触れる前に金属の表面に触れるなどして、指から静電気を取り除いてください。特に冬や他の乾燥状態での静電気にご注意ください。
- 動作不良や故障が発生するとき：
  - 指紋センサー表面が、固い物で擦られたり、引っかかれたり、または先のとがった物でつつかれたために傷が付いたりしている。
  - センサーが汚れした指で触られたり、小さな物体による損傷で表面にしみが付いたりしている。
  - センサー表面がシールで覆われたり、インクで汚れたりしている。

所有者データの消去（初期化）

パソコンを廃棄したり他の人に譲渡したりする場合は、不正なアクセスを避けるために所有者データを消去 (初期化) してください。

お知らせ

- 指紋センサーに登録されたデータは画像データではありません。指紋センサーに登録されたデータから指紋画像データを再生することはできません。

1　パワーオンセキュリティを無効にする。

管理者のユーザーアカウントでログオンしてください。

① （スタート）*6 - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] をクリックする。
② [認証] - [状況] をクリックする。
③ [パワーオンセキュリティの状態] - [変更] をクリックする。
④ [編集] をクリックし、[パワーオンセキュリティの有効化] のチェックマークを外し、[適用] をクリックする。
⑤ [認証] - [パワーオンパスワード] をクリックする。
⑥ [パスワードの管理] をクリックする。
⑦ [パスワードのタイプ] の [パワーオン] を選び、[パスワードの設定解除] をクリックする。
⑧ パワーオンセキュリティのパスワードを入力し、[OK] をクリックする。
⑨ [閉じる] をクリックする。
- [パスワードのタイプ] に何も項目がないことを確認してください。

2　指紋データを削除する。

各ユーザーで行ってください。

① （スタート）*6 - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] をクリックする。
② [認証] - [アカウント操作] をクリックする。
③ [ユーザーデータの削除] をクリックする。
- 確認のメッセージで [はい] をクリックしてください。

④ Windowsログオンパスワードを入力し、[送信] をクリックする。
- [パスワードのタイプ] に何も項目がないことを確認してください。

3 Protector Suite をアンインストールする。

管理者のユーザーアカウントでログオンしてください。

① すべてのプログラムを閉じる。

② Windows 7

（スタート）- [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックする。

Windows XP

[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。

③ Windows 7

[Protector Suite *.*] をダブルクリックする。

Windows XP

[Protector Suite *.*] をクリックし、[変更] をクリックする。

④ [削除] をクリックする。

⑤ [全ての Protector Suite *.* のデータを削除する] を選び、[次へ] をクリックする。
- アンインストールが始まります。画面の指示に従ってください。

⑥ アンインストール終了のメッセージが表示されたら [完了] をクリックする。
- 確認メッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
- パソコンが再起動します。

*6 Windows XP: [スタート]

所有者データの再登録

「困ったときは（詳細編）」で指紋センサーの問題（➔142 ページ）が解決しない場合は、所有者データを消去し、再登録することで解決する場合があります。ただし、パスワード、シークレットキー、および指紋データは消失します。

① 管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。
- Windows ログオンパスワードで常にパソコンにアクセスできます。
  便利モードでは、どのユーザーも Windows ログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。

② 次回、パスワード、シークレットキーや登録した指紋を使う予定がある場合は、パスポートをファイルに書き出す。
- すでに最新のパスポートを書き出している場合は、この手順は不要です。
- バイオメトリックス認証で指が認識されたら、[アカウント操作] 画面を使って指をスキャンし、画面の指示に従って操作を続けてください。
- バイオメトリックス認証で指が認識されない場合は、[アカウント操作] 画面を表示させ、指紋認証なしでパスポートを書き出すことができます。この場合は指紋ダイアログをキャンセルすることが必要です。パスワードを要求されたら、バックアップパスワードを入力してください。バックアップパスワードを使わない場合は、Windowsログオンパスワードを入力してください。

お願い

- バックアップパスワードの設定をお勧めします。
  - バイオメトリックス認証が動作しない場合は、データをバックアップする方法はありません。

③ パスポートの削除
- [ユーザーデータの削除] 画面を使います。保存されたデータ（パスワード、[File Safe] 暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。
  データをバックアップしてある場合は、次の手順で復元できます。データをバックアップしていない場合は完全に消失します。
  削除操作を行うには、指紋確認操作をキャンセルしてパスワードダイアログを表示させて、Windowsログオンパスワードかバックアップパスワードを入力してください。

④ 指紋センサーが動作していることを確かめる。
- チュートリアル画面を使って、指紋センサーの動作を確認してください。動作しない場合は、再起動して再度行ってください。それでも動作しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

⑤ パスポートを復元または作成する。
- データをバックアップしてある場合はすぐ、[アカウント操作] を使ってデータを復元してください。または [指紋の管理] を使って新しいパスポートを作成してください。

< モデム内蔵モデルのみ >

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **下に向けてスライドしてカバーを開け、モジュラーケーブル（B）を使って、電話コンセント（A）に接続する。**

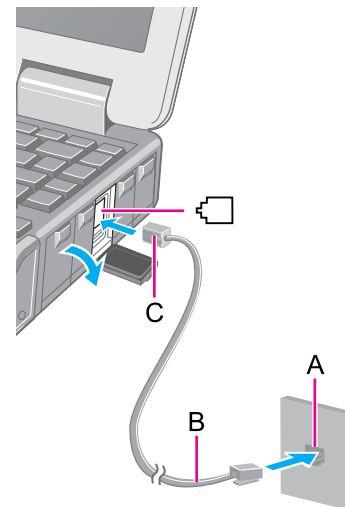
- 突起部（C）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

2 Windows 7

（スタート）- [コントロール パネル] - [インターネットへの接続] - [ダイヤルアップ]をクリックする。

Windows XP

[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション]をクリックする。

3 **必要に応じて設定を変更する。**

お知らせ

- 通信中は、スリープ[*1]機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（C）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

[*1] Windows XP: スタンバイ

モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスリープ *2 状態からリジュームします。
この機能を使うには、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアが必要です。また、リジュームした後パソコンをスリープ *2 状態に戻す場合もソフトウェアが必要です。詳しくはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

■ モデルリングリジューム機能を有効にする

Windows 7

1 **(スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows FAX とスキャン]をクリックする。**

2 **[ツール] - [FAX の設定]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- ご使用のモデムがデバイス名に表示されているか確認してください。表示されていなければ、[FAX デバイスの選択] をクリックして正しいモデムを選択してください。

3 **[デバイスで FAX 呼び出しを受信できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

4 **(スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

5 **[モデム]をダブルクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**

6 **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

Windows XP

1 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ]をクリックする。**

2 **[モデム]をダブルクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**

3 **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

■ パソコンがスリープ[*2]状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間が経過するとパソコンはスリープ[*2]状態に入ります。[なし] に設定しておくと、通信の途中でスリープ[*2]状態に入ることはありませんが、リジュームした後スリープ[*2]状態に戻りません。

① Windows 7
画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] - [コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。
Windows XP
[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックする。

② 通信時間を予測して、スリープ[*2]状態に戻る時間を設定する。

お知らせ

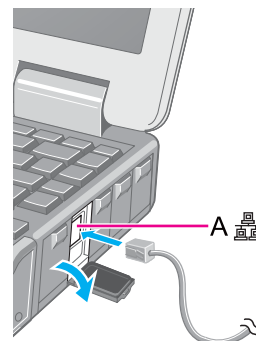
- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- AC アダプターを接続してください。
- スリープ[*2]状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネルに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。（PCカードモデムなどは使えません。）
- パソコンが起動するのに時間がかかるため、通常より呼び出し時間を長く設定してください。送信側で呼び出し音を長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで、着信までのベル回数を少なく設定してください。

[*2] Windows XP: スタンバイ

LANを接続する

1　パソコンの電源を切る。
- スリープ[*1]機能や休止状態機能は使わないでください。

2　カバーを開けて、ケーブルを接続する。
LANケーブルを使って、LANコネクター（A）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。

3　パソコンの電源を入れる。

Power On by LAN機能／Wake Up from LAN機能

お知らせ

- Wake Up from LAN機能を有効にしていると、パソコンがスリープ[*1]・休止状態のときやパソコンの電源が切れている状態でも電力を消費します。必ずACアダプターをお使いください。
Wake Up from LAN機能を使わない場合は、この機能を無効にしてください。（➔78ページ）
- セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」または「復帰時のパスワード」を「有効」または「自動」に設定している場合でも、起動やリジュームの際にパスワードの入力は必要ありません。
- 次の場合はPower On by LAN機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上押してパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- スリープ[*1]状態からリジュームしたとき、画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネルに触れると、元の画面が表示されます。

[*1] Windows XP: スタンバイ

Power On by LAN機能を有効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

1 セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。(➔106ページ)

2 「[重要] お知らせ」画面で、Enterを押す。

3 F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。

4 コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。

5 Windows 7

(スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー]をクリックし、[ネットワーク アダプター] - [Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。

Windows XP

[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックし、[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。

6 [プロパティ]の[PMEをオンにする]をクリックし、[値]で[オン]を選択し、[OK]をクリックする。

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。

  ① Windows 7

  (スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。

  Windows XP

  [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックする。

  ② [ネットワーク アダプター] - [Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。

③ [プロパティ]の[Wake on Magic Packet]をクリックし、[値]で[オン]を選んで[OK]をクリックする。
- Windowsを強制終了すると、Power ON by LAN機能は働きません。

Wake Up from LAN機能を有効／無効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープ [*2] 状態や休止状態から自動的にリジュームします。
Wake Up from LAN 機能は、次の手順で有効／無効の切り替えができます。

1 Windows 7

(スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー]をクリックする。

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

Windows XP

[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ]をクリックする。

2 **[ネットワーク アダプター] - [Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

3 **[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

- 上記 2 つの項目のオン／オフ設定は同時に行うことをお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンがリジュームする場合があります。
  意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。

  ① Windows 7
  (スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー]をクリックする。
  • 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。

  Windows XP
  [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ]をクリックする。

② [ネットワーク アダプター] - [Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。

③ [Magic Packetでのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする][*3]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

---

*2 Windows XP: スタンバイ

*3 Windows XP: [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]

無線通信をオン／オフする

＜無線 LAN ／ Bluetooth ／ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ＞
次の 4 通りの方法で、無線通信のオン／オフをすることができます。

- 無線切り替えスイッチで切り替える（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔81 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔107 ページ）

Windows 7

- [ネットワークと共有センター] の設定を変更する（➔85 ページ）

Windows XP

- 無線接続無効ユーティリティで設定する（➔83 ページ）

お知らせ

- 無線LANについて詳しくは：（➔85ページ）
- Bluetoothについて詳しくは：（➔91ページ）
- ワイヤレスWANについて詳しくは：『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』をご覧ください。
- LANケーブルの抜き差しにより無線通信を有効にしたり無効にしたりすることもできます。
  Windows 7「ネットセレクター 2」（➔92ページ）
  Windows XP「無線接続無効ユーティリティを使う」（➔83ページ）

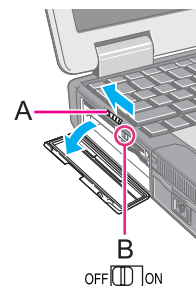
無線切り替えスイッチで切り替える

■ すべての無線通信を無効にするには

1 **ラッチ（A）をスライドしてカバーを開け、無線切り替えスイッチ（B）をOFF側にスライドする。**

■ 無線通信を有効にするには

1 **ラッチ（A）をスライドしてカバーを開け、無線切り替えスイッチ（B）をON側にスライドする。**

- 工場出荷時は、無線切り替えスイッチを ON にすると、すべての無線機能が有効になるように設定されています。

■ 無線通信の状態を確認するには

Windows 7

1 **画面右下の通知領域にある をクリックし「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にポインターを合わせる。**
ツールのヒントが表示されます。

Windows XP

1 以下の手順のいずれかを行う。

- 画面右下のタスクトレイの 、、 または をダブルクリックする。
- [スタート] - [すべてのプログラム] - [インテル PROSet Wireless] - [WiFi 接続ユーティリティ] をクリックする。

お知らせ

- 無線ユーティリティをアンインストールする場合は、あらかじめ無線切り替えスイッチをONの位置にしておいてください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線切り替えスイッチ入／切の直後に、再起動やログオフをしたり、スリープ[*1]・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線LAN/ワイヤレスWAN/Bluetoothを使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」／「ワイヤレスWAN」／「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔107ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔107ページ）と、画面右下の通知領域の をクリックしたときに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機能（無線LAN/ワイヤレスWAN/Bluetooth）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。

*1 Windows XP: スタンバイ

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティにより、無線切り替えスイッチの動作を設定できます。また、無線切り替えユーティリティアイコンを使って無線機能（無線 LAN/Bluetooth）を有効／無効にすることもできます。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下の通知領域の をクリックしたときに「無線切り替えユーティリティアイコン」が表示され、無線通信の状態を示します。

- : 無線機能がオンのとき
- : 無線機能がオフのとき
- : 無線機能がセットアップユーティリティで無効になっているとき

■ 無線機能を個別にオン／オフする

1 画面右下の「無線切り替えユーティリティアイコン」をクリックし、ポップアップメニューを表示する。

2 メニューを使って、無線機能のオン／オフを切り替える。

■ 無線切り替えスイッチの働きを選択する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを切にすると、切にする直前の各無線機能のオン／オフの状態が保存されます。再び無線切り替えスイッチを入にすると、無線機能を切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

1 画面右下の通知領域にあるをクリックし「無線切り替えユーティリティアイコン」（または）をクリックする。

2 [設定]をクリックする。

3 無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線切り替えスイッチをONにしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は、[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）

[以下のデバイスをオンする]
無線切り替えスイッチをONにしたときにオンにしたい無線機能を選択してください。

[無線切り替えスイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線切り替えスイッチをONにしたとき、最後に無線切り替えスイッチをOFFにしたときのオン／オフ設定が選択されます。

4 [OK]をクリックする。

無線接続無効ユーティリティを使う Windows XP

無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオンにしていると、本機に LAN ケーブルを接続したときに、自動的に本機の無線 LAN がオフになります。
ご使用前に、以下の手順で無線接続無効ユーティリティをインストールしてください。

無線接続無効ユーティリティをインストールする

1 **コンピューターの管理者の権限でWindows にログオンする。**

2 **[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥wdisable¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックする。**
以降、画面の指示に従ってください。

無線接続の状態を調べる

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティがインストールされていないと、無線接続無効ユーティリティは働きません。（工場出荷時には、無線切り替えユーティリティはインストールされています。）
- ご使用前に、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「有効」に設定してください。（➔107ページ）
- 無線接続無効ユーティリティはワイヤレスWAN/Bluetoothには働きません。

■ 無線接続無効ユーティリティアイコン

無線接続無効ユーティリティのインストール後、Windows にログオンすると、無線接続無効ユーティリティは自動的に起動します。

: 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオンになっており、LAN ケーブルが接続されているため、無線 LAN がオフになっている。

: 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオンになっており、LAN ケーブルが接続されていないため、無線 LAN がオンになっている。

: 以下のいずれかの状態です。

- 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオフになっている
- 無線切り替えユーティリティが働いていない
- 内蔵 LAN がデバイスマネージャーで無効に設定されている、またはセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」が「無効」に設定されている

■ 無線接続無効ユーティリティのメニュー

画面右下のタスクトレイの無線接続無効ユーティリティアイコンをクリックすると、次のようなメニューが表示されます。

LANケーブル監視 : オン (O)
LANケーブル監視 : オフ (F)
バージョン情報 (V)
終了 (X)

LAN ケーブル監視 : オン
無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオンにします。（LAN ケーブルが接続されると、自動的に無線 LAN がオフになります。）

LAN ケーブル監視 : オフ
無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオフにします。（LAN ケーブルの接続に関係なく、無線 LAN のオン／オフが可能になります。）

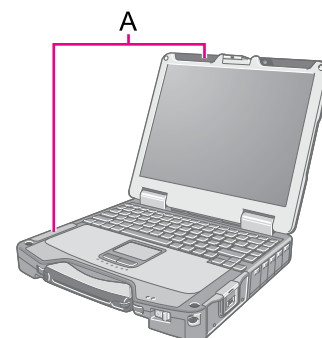
終了
無線接続無効ユーティリティを終了します。（LAN ケーブルの接続に関係なく、無線 LAN のオン／オフが可能になります。）

<無線 LAN 内蔵モデルのみ>

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔107ページ）

無線LAN機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

無線LAN通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、無線LANをオン／オフする。(➔80ページ)**

Windows 7

- 無線 LAN をオンにするとき
  無線切り替えスイッチで無線 LAN をオンにできなければ、無線切り替えユーティリティの設定（➔81ページ）を確認してください。無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにできなければ、次の手順を実行してください。

① 画面右下の通知領域の または をクリックし、[ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

② [アダプターの設定の変更]をクリックする。
③ [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[有効にする]をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- [ワイヤレスネットワーク接続] がすでに有効に設定されているときは、[無効にする] が表示されます。

④ 無線切り替えユーティリティで無線LANをオンにする (➔81ページ)。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティを使わずに、次の手順で無線 LAN をオンにすることもできます。
  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [共通で使うモビリティ設定の調整] をクリックする。
  ② [ワイヤレスネットワーク] の [ワイヤレスをオンにする] をクリックする。
  - ワイヤレスネットワークがすでに有効に設定されているときは、[ワイヤレスをオフにする] が表示されます。
  - 無線切り替えスイッチがオフになっているときは、[ワイヤレスをオンにする] は選択できません。

無線LAN のアクセスポイントを設定する Windows 7

準備
無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に従って、アクセスポイントがパソコンを認識できるように設定してください。

1 **無線 LAN をオンにする。**

2 **通知領域の または をクリックする。**

3 **アクセスポイントを選択し、[接続] をクリックする。**

4 **設定したアクセスポイントに対応するキーを入力し、パソコンを認識させて [OK] をクリックする。**
パソコンが無線 LAN のアクセスポイントへ接続するまでお待ちください。
アイコンが に変わったら、無線 LAN の設定は完了です。

5 **[閉じる] をクリックする。**

お知らせ

- 設定内容はネットワーク環境によって異なります。詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。
- アクセスポイントの自動検出を制限するステルスモードでアクセスポイントへ接続するときは、次の手順を実行してください。
  次の手順を実行しないと、アクセスポイントにアクセスできなかったり、[ネットワークに接続]画面にアクセスポイントが表示されなかったりすることがあります。
  ① 画面右下の通知領域の 、 または をクリックし、[ネットワークと共有センターを開く]- [新しい接続またはネットワークのセットアップ] - [ワイヤレス ネットワークに手動で接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする。
  ② 必要な情報を入力し、[この接続を自動的に開始します]と[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
  詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。

プロファイルを設定する Windows XP

1 **画面右下のタスクトレイの 、 または をダブルクリックする。**
[インテル (R) PROSet/Wireless WiFi 接続ユーティリティ] の画面が表示されます。
- か をダブルクリックした場合は、手順 *3* に進んでください。

2 **手順 *1* で をダブルクリックした場合は、無線切り替えスイッチを入にする。**（➔80 ページ）

3 **画面右下の [プロファイル] をクリックし、[追加] をクリックする。**

4 **プロファイル名とワイヤレスネットワーク名（SSID）の入力、および必要な変更を行ってから [次へ] をクリックする。**

5 **必要な設定を行ってから [OK] をクリックする。**

6 **作成したプロファイル名を選択し、[接続] をクリックする。**

7 **[閉じる] をクリックする。**

お知らせ

- プロファイルの設定はユーザーごとに必要です。
- ネットワーク環境により設定は異なります。詳しくは会社のシステム管理者またはネットワーク管理者に確認してください。
- Intel® PROSet/Wireless のソフトウェアについて詳しくは、メニューバーの [ヘルプ] を参照してください。

無線LANの規格IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN/W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。
5.47GHz ～ 5.725GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **画面右下の通知領域にある をクリックし、 または をクリックする。**

2 **[802.11a 有効]または[802.11a 無効]をクリックする。**

Windows 7

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（またはは）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線LAN、ワイヤレスWANおよびBluetoothのオン／オフ状態を示しています。
- パソコンがIEEE802.11b/gアクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11aを有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。

無線LANネットワークの状態を確認する

1 **画面右下の通知領域にあるをクリックし「無線切り替えユーティリティアイコン」（または）にポインターを合わせる。**

ツールチップが表示されます。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティのアイコン（ と ）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線通信のオン／オフの状態を示しています。
- [デバイス マネージャー]で設定を変更すると、それにともない状態表示も変わります。

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔88ページ）IEEE802.11aの5.2 GHz／5.3 GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。
  5.47 GHz～5.725 GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **FREESPOTの設定を選択する。**

Windows 7

① 画面右下の通知領域の「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[ネットワークに接続]をクリックする。
② [FREESPOT]をクリックする。
③ [接続]をクリックする。

Windows XP

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。
② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックして選び、[ワイヤレスネットワーク]をクリックする。

③ [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]をクリックして、チェックマークを付ける。

④ [ワイヤレスネットワークの表示]をクリックし、[ワイヤレスネットワークの選択]の中から[FREESPOT]をクリックする。

⑤ [接続]をクリックする。

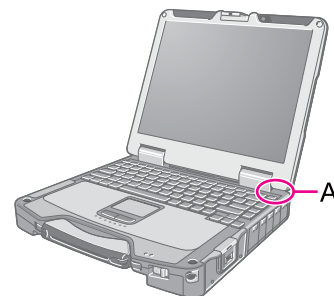
⑥ 画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」を右クリックしてネットセレクターのメニューを表示させ、[FREESPOT]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

＜ Bluetooth 内蔵モデルのみ＞
ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔107ページ）
- Bluetoothのドライバーをアンインストールしたときは、Bluetooth通信をオフにしてください。

Bluetooth機能を使う

Bluetooth をお使いになる前に、Bluetooth 通信をオンにしてください。

Bluetooth通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、Bluetoothをオン／オフする。****（➔80ページ）**

Bluetoothの通信状態を確認する

1 **画面右下の通知領域にある をクリックし「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にポインターを合わせる。**
ツールチップが表示されます

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **（スタート）[*1]- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetoothユーザーズガイド]をクリックする。**

[*1] Windows XP: [スタート]

Windows 7

ネットセレクター 2 は、自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合に、接続したネットワークに合わせて設定を切り替えることができるアプリケーションソフトです。
接続先や接続方法が変わると、そのたびに IP アドレスなどの設定を切り替える必要がありますが、ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録しておくと、IP アドレスや使用するプリンターを切り替えることができます。

詳しくは、以下の手順で『取扱説明書 ネットセレクター 2 の使い方』をご覧ください。

① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2について]をクリックする。

■ ネットセレクター 2の基本機能

Windows には、次のネットワーク管理機能があります。

- 新たに接続されたネットワークを記憶する
- 記憶したネットワークの接続を識別する
- 識別したネットワークに応じたファイアーウォールの設定を適用する

ネットセレクター 2 は、このネットワーク管理機能と連動して、次の動作を行います。

- Windows に記憶されたネットワークに対して、IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定データを保存する
- Windows に記憶されたネットワーク [*1] に対して、保存した設定データを適用する [*2]
- LAN ケーブルの抜き挿しによって、無線 LAN の接続を停止 / 再開する [*3]

[*1] すべてのネットワークが自動で識別されるわけではありません。識別されない場合は、「識別されていないネットワーク」と表示されます。

[*2] Windows が自動識別するネットワークに対しては、自動的に設定データを適用することもできます（『取扱説明書 ネットセレクター 2 の使い方』「オプションの設定をする」をご覧ください）。

[*3] オプションの設定が必要です（『取扱説明書 ネットセレクター 2 の使い方』「オプションの設定をする」をご覧ください）。

お願い

- ネットセレクター 2に登録されるIPアドレスはIPv4のみです。IPv6には対応していません。
- Guestアカウントでは使用できません。

ネットセレクター機能

Windows XP

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクターが便利です。

■ ネットセレクターはこんなときに使う

- ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える
  例えば、自宅では ADSL、会社では LAN、出張先では別の LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。
- プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える
  例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

■ ネットセレクターでできること

ダイヤルアップ	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクターの画面から使えます。
ネットワーク	● 会社などで使われているネットワークの設定を 9 件まで登録することができます。 ● 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 ● 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクターの画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN、無線 LAN*1、LAN ＋無線 LAN*1 の 3 種類から選ぶことができます。

*1 無線 LAN 内蔵モデルのみ

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

あらかじめ、モデム[*2]、LAN または無線 LAN[*3] など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。

1 **ネットセレクターを表示する。**

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックする。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- パソコンを起動した後、初めてネットセレクターを起動した場合は、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。2回目以降は、前回使用していた画面（[接続方法] または [ネットワーク設定]）が表示されます。

2 **[接続方法]または[ネットワーク設定]をクリックする。**

3 **接続アイテムをクリックし、 をクリックする。**

4 **インターネットやメール、ネットワークなどを利用する。**

- ダイヤルアップ接続を切断するときは

① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。

② [接続方法]画面のメニューボタンから をクリックする。

*2 モデム内蔵モデルのみ
*3 無線 LAN 内蔵モデルのみ

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 5.5/6.0/7.0/8.0、Outlook Express 5.5/6.0に限ります。
- Internet ExplorerやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウインドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの[ツール] - [アカウント] - [メール] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。
- コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合
  - [ネットワーク設定]画面は表示されません。
  - [接続方法]画面：
    - ドメインの設定を行っていない場合、ダイヤルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。

    ＜無線LAN内蔵モデルのみ＞
    - [LAN] と [無線 LAN] を統一して [LAN] と表示されます。[LAN] と [無線 LAN] を切り替えることはできません。また、LAN の機器名は表示されません。

ネットワークへの接続設定を登録する

会社では LAN、出張先では別の LAN を使うなど、ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える必要がある場合、各ネットワークの接続方法をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、接続アイテムを選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録／変更／削除は、コンピューターの管理者の権限でログオンして行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定
  - LANおよび無線 LAN[*4]の有効／無効
  - 通常使うプリンターの設定
  - Windowsファイアウォールの状態
  - 通常使う接続の設定
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

*4　無線 LAN 内蔵モデルのみ

ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください。（➔110ページ）
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

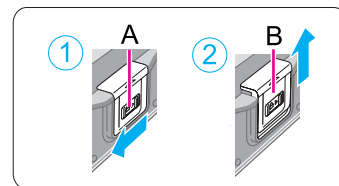
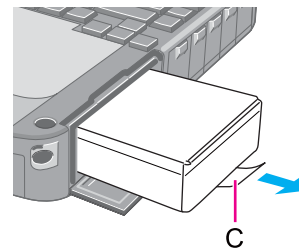
- スリープ[*1] 機能や休止状態機能は使わないでください。

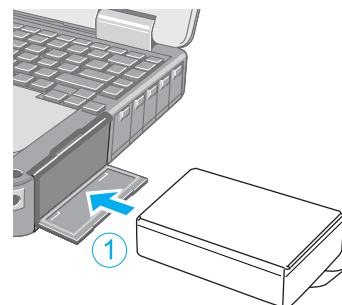
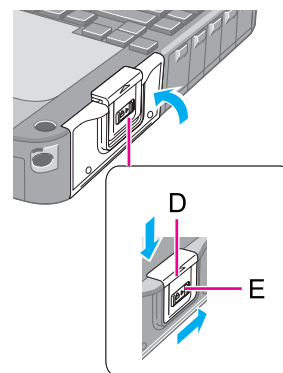
2 **バッテリーパックを取り外す。****（➔31ページ）**

3 **ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。**

- 取り外すには

① ラッチ（A）を左側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（B）を上にスライドして、カバーを開ける。

③ ハードディスクドライブのタブ（C）を引いて、スロットから取り出す。

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとハードディスクドライブを挿入する。

② カバーを閉め、ラッチ（DとE）を戻してカバーをロックする。

4 バッテリーパックを取り付ける。（➔32ページ）

*1 Windows XP: スタンバイ

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

お知らせ

- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます。（➔101ページ）ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。
- Windows 7
  ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。（➔126ページ）

Windows 7

クイックブートマネージャーを使うと、Windows の起動時間を短くすることができます。
セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「Boot Mode」を「高速」に設定する方法もあります（➔108 ページ）。

クイックブートマネージャーの開始

1 **コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。**

2 **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [クイックブートマネージャー] をクリックする。**
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

設定の変更

1 **クイックブートマネージャーを開始する。**

2 **[かんたん高速起動設定モード] または [高速起動詳細設定ウィザードモード] をクリックする。**

3 **適用したい項目にチェックマークを付ける。**

4 **[完了] または [次へ] をクリックする。**
- 次の画面が表示された場合は、手順 ***3*** を繰り返してください。
- パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

お願い

- 手順***3*** で「高速」を選ぶと、パソコン起動時に [Panasonic] 起動画面が表示されなくなり、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間が短くなります。
  セットアップユーティリティを開始したい場合は、電源を入れる前から**F2**または**Del**を押したままにしてください。

■ ブートトレーニングを行う

この機能を使うと、Windows がファイルの読み込みの学習を行い、起動時間が短くなります。
この機能を開始するには、以下の操作を行ってください。
パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

1. **AC アダプターを接続する。**
2. **クイックブートマネージャーを開始する。**
3. **[ブートトレーニング]をクリックする。**
4. **ブートトレーニングを実行するタイミングおよび完了後の動作を選択し、[OK]をクリックする。**
5. **パスワードのメッセージ画面で、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ブートトレーニングの実行中は、キー、フラットパッド、外部マウスなどには触れないでください。

■ すべての設定をクリアにする

クイックブートマネージャーのすべての設定をクリアにするには、以下の操作を行ってください。

1. **クイックブートマネージャーを開始する。**
2. **[すべての設定をクリア]をクリックする。**
3. **確認のメッセージが表示されたら「はい」をクリックする。**
4. **[OK]をクリックする。**
5. **[完了]をクリックする。**
   パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間にF2 または Del を押す。**

[パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、すべての項目の設定を変更できません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9（デフォルトの設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
言語（Language）	English French <u>日本語（Japanese）</u>

製品情報

項目	設定
機種品番 製造番号	パソコン情報 （変更はできません）

システム情報

項目	設定
プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー[*1] ハードディスク 光学ドライブ	パソコン情報 （変更はできません）

BIOS 情報

項目	設定
BIOS BIOS 構成 電源コントローラー Intel(R) ME ファームウェア 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 （変更はできません）

[*1] 搭載メモリーが 4GB 以下の場合、使用可能メモリーは 2GB です。
搭載メモリーが 4GB を超える場合、使用可能メモリーは 8GB です。（32 ビット OS 使用時は 3.25GB）

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

システム日付 • 年／月／日／曜日 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx/(x)]
システム時間 • 24 時間制です。 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

フラットパッド	無効 有効
タッチスクリーンモード	タッチスクリーン タブレット 自動
現在のモード • 「タッチスクリーンモード」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	タッチスクリーンモードの設定状態に応じ、「タッチスクリーン」または「タブレット」のどちらかが表示されます。
Fn ／左 Ctrl キー • キーボードの Fn キーと Ctrl キーの機能を入れ替えるかどうかを設定します。	標準 入れ替え
内蔵テンキーモード • キーボードのテンキー部分の動作を設定します。 • 「NumLock 連動」を選ぶと、NumLock LED がオンのときにテンキー部分がテンキーとして動作します。 • 「Fn キー」を選ぶと、 Fn キーを押したときだけテンキーとして動作します。	NumLock 連動 Fn キー
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD
LCD 輝度モード • [高輝度] が選択されている場合、[通常輝度] が選択されているときより LCD 輝度は約 2 倍明るくなり、消費電力も増加します。	通常輝度 高輝度

充電中バッテリー状態表示	点灯 明滅
Power On AC	無効 有効
LID スイッチ	無効 有効
環境	常温 高温 自動
現在の状態 •「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。

▶Concealed Mode 設定	サブメニュー表示 *2

*2 「Concealed Mode 設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
Concealed Mode	無効 有効
LCD バックライト •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	オフ 最低輝度 オン
LED •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 • 外部デバイスの LED には働きません。	オフ オン
サウンド •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	オフ オン
無線電波 •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	オフ オン
Backlit Keyboard • Backlit Keyboard 内蔵モデルのみ •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	オフ オン
ファン •「Concealed Mode」が「有効」に設定されているときのみ、ファン設定を変更できます。	オフ オン

▶ ファン故障診断	サブメニュー表示

詳細メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

▶CPU 設定	サブメニュー表示 *3

*3 「CPU 設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
データ実行防止機能 ・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。	無効 有効
Intel(R) Hyper Threading Technology	無効 有効
Core Multi-Processing	無効 有効
Intel(R) Virtualization Technology	無効 有効
Intel(R) VT-d	無効 有効
Intel(R) Trusted Execution Technology ・Intel(R) AMT サポートモデルのみ	無効 有効
Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0	無効 有効

周辺機器設定

▶ シリアルポート設定 ・シリアルポート A ／ B および GPS を設定します。	サブメニュー表示 *4

*4 「シリアルポート設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
シリアルポートA	無効 有効 自動
I/O IRQ ・「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
シリアルポートB	無効 有効 自動

項目	設定
I/O IRQ ・「シリアルポートB」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
GPS ・GPS内蔵モデルのみ	無効 有効 自動
I/O IRQ ・GPS内蔵モデルのみ ・「GPS」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5

項目	設定
HDD コントローラ設定 ・**< 重要 > この設定は変更しないでください。**変更すると、Windows が正常に動作しなくなります。	Compatible AHCI
光学ドライブ	無効 有効
LAN	無効 有効
Power On by LAN 機能 ・「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 ・[Power On by LAN機能]を使うには、[デバイス マネージャー] でも設定が必要です。（➔76ページ）	禁止 許可
モデム ・モデム内蔵モデルのみ	無効 有効

▶ 無線設定	サブメニュー表示 *5

*5 「無線設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
無線スイッチ	無効 有効
無線状態表示ランプ	無効 有効
無線 LAN • 無線 LAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
無線 LAN/WiMAX • 無線 LAN/WiMAX 対応モデルのみ	無効 有効
ワイヤレス WAN • ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth • Bluetooth 内蔵モデルのみ	無効 有効

項目	設定
タッチスクリーン	無効 有効
ExpressCard スロット	無効 有効
PC カードスロット	無効 有効
SD スロット	無効 有効
スマートカード • スマートカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
USB ポート	無効 有効
ポートリプリケーター USB ポート •「ポートリプリケーター USB ポート」を「無効」に設定すると、ポートリプリケーターの USB ポートも無効になります。	無効 有効
レガシー USB	無効 有効

起動メニュー

Boot Mode ・「高速」を選ぶと、パソコン起動時に [Panasonic] 起動画面が表示されなくなり、Windows の起動画面が表示されるまでの時間が短くなります。 セットアップユーティリティを開始したい場合は、電源を入れる前から **F2** または **Del** を押したままにしてください。 ・USB 起動デバイスが正しく動作しない場合は、「互換」を選択してみてください。ただし、「互換」を選択すると、Windows の起動画面が表示されるまでの時間が、「通常」の場合よりも長くなります。 **Windows 7** ・クイックブートマネージャーで「高速」に設定する方法もあります。(➔98 ページ) クイックブートマネージャーのすべての設定をクリアにすると、「Boot Mode」は「通常」に戻ります。	高速 <u>通常</u> 互換

起動オプション優先度

起動オプション #1 起動オプション #2 起動オプション #3 起動オプション #4 起動オプション #5 起動オプション #6	USB フロッピー *6 ハードディスク 光学ドライブ LAN USB ハードディスク USB 光学ドライブ

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の起動順位は「USB フロッピー [*6]」→「ハードディスク」→「光学ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」→「USB 光学ドライブ」です。

- 変更したい起動デバイス上で **Enter** を押し、起動デバイスを下記のメニューから選んでください。
  - 新たに選択した起動デバイスが、すでに「起動オプション (#1 ～ #6)」のいずれかにある場合、元の起動デバイスと、新たに選択した起動デバイスの起動順位が入れ替わります。
  - 以下のメニューで「無効」を選んだ場合、無効になった「起動オプション」は認識されず、その次の起動デバイスが作動します。

ハードディスク 光学ドライブ LAN USB フロッピー [*6] USB ハードディスク USB 光学ドライブ 無効

[*6] USB フロッピーからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。

セキュリティメニュー

起動時の表示設定　　下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
Setup Utility 表示 •「Setup Utility 表示」が「無効」になっていると、[Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージが [Panasonic] 起動画面に表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても **F2** と **F12** は働きます。	無効 有効
Boot Popup Menu	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効 自動
再起動時のパスワード	無効 起動時に同じ
復帰時のパスワード •「起動時のパスワード」が「自動」または「有効」に設定されているときのみ設定できます。	無効 有効 自動

休止復帰時の起動デバイス	優先デバイスを試行 ハードディスクのみ
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 ・「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定 ・「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	サブメニュー表示
Intel(R) Anti-Theft Technology	インアクティブ アクティブ 盗難 サスペンド
サスペンドモード遷移 ・「Intel(R) Anti-Theft Technology」が「アクティブ」に設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
▶ 内蔵セキュリティ（TPM） ・内蔵セキュリティ（TPM）内蔵モデルのみ ・詳しくは 『取扱説明書 内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。 Windows 7 （スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、**Enter**を押してください。 Windows XP [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力し、[OK] をクリックしてください。	サブメニュー表示
▶ 指紋認証セキュリティ ・指紋センサー内蔵モデルのみ	サブメニュー表示
▶AMT 設定 ・Intel(R) AMT 対応モデルのみ	サブメニュー表示

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する

保存オプション

設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す

デバイスを指定して起動

(デバイス情報)	次回に起動するデバイスを選択する

Windows 7 ▶ コンピューターの修復	スタートアップの問題の修復、ハードディスクリカバリーの実行、診断の実行、システムの復元のためのシステム回復ツールの一覧を表示する

▶ 診断ユーティリティ	診断ユーティリティを起動する

Windows XP

画面の項目表示を拡大する

文字やアイコン、タイトルバー、ポインターなどを拡大表示できます。

お願い

- ディスプレイの解像度を1024 x 768ドット未満に設定すると、フォントサイズ拡大ツールは起動しません。

お知らせ

- 拡大表示すると、メニューの一部や画面上の項目の一部が隠れて見えなくなることがあります。その場合は、ポインターをメニュー上に移動させてポップアップを表示させたり、画面をスクロールさせたりするなどの機能を使って、隠れた項目を表示させてください。
- フォントサイズ拡大設定は、Internet Explorer上で表示されるWebページの文字や、Outlook Express上の電子メールの文字にも影響します。ただし、Webページや電子メールの文字の中には、拡大表示されないものもあります。

準備

フォントサイズ拡大ツールを使用する前に、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [フォントサイズ拡大]をクリックする。**

2 **サイズを選択する。**

3 **[OK]をクリックする。**

設定したサイズで画面が表示されます。

ズームビューアー

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーを起動する

1 (スタート) *1 - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。

2 [OK]をクリックする。

- 画面右下の通知領域にが表示されます。

  が表示されない場合は、画面右下の通知領域のをクリックしてください。

*1 Windows XP: [スタート]

ズームビューアーを使う

1 画面上の拡大したい部分にポインター を合わせる。

2 Altを押したまま右クリックする。

- ポインターを合わせた部分が拡大されます。
- をダブルクリックするか、を右クリックし [表示する] をクリックしても拡大できます。

3 拡大表示ウインドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。

- 拡大表示ウインドウを非表示にするには、(非表示ボタン)（B）をクリックする。
  または、拡大表示ウインドウの範囲外でクリックするか、 Alt を押したまま右クリックしてください。
- 拡大表示ウインドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
  拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

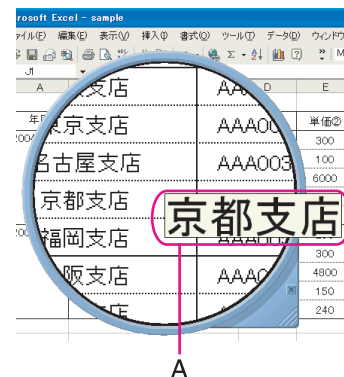
お知らせ

- 拡大表示ウインドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例：**Alt**を押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウインドウに反映するには、拡大表示ウインドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウインドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウインドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下の通知領域の(AB)を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウインドウは表示されません。

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウインドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
    （上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウインドウが表示されます。）
- 複数のウインドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウインドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウインドウが表示されない場合があります。

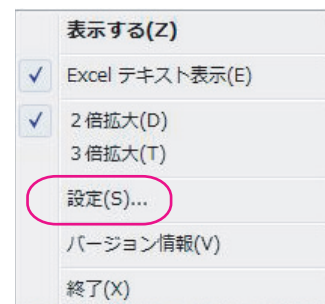
- テキスト表示ウインドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウインドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にポインターがあった場合は、テキスト表示ウインドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にポインター（拡大表示ウインドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1 **画面右下の通知領域にある をクリックし を右クリックする。**

2 **[設定]をクリックする。**

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき
  ① [マウス／タッチパッド]をクリックする。
  ② **Alt**、**Ctrl**、**Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl**+**Alt**）
  ③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択する。
- キーボードを使用するとき
  ① [キーボード]をクリックする。
  ② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。（例：**Alt**+**Z**、**Ctrl**+**Alt**+**Z**など）

[ウインドウデザイン]
拡大表示ウインドウの形を選択します。

[起動]
Windowsの起動と同時にズームビューアーを自動的に起動するように設定したり、ズームビューアー起動時に説明を表示するように設定したりすることができます。

3 **[OK]をクリックする。**

ハードウェアの自己診断機能

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、ご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでソフトウェアを診断することはできません。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

- CPU
- メモリー
- ハードディスク
- CD/DVD ドライブ [*1]
- ビデオコントローラー
- サウンドコントローラー [*2]
- モデム（モデム内蔵モデルのみ）
- LAN 機能
- 無線 LAN 機能（無線 LAN 内蔵モデルのみ）
- ワイヤレス WAN 機能（ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ）
- Bluetooth 機能（Bluetooth 内蔵モデルのみ）
- GPS（GPS 内蔵モデルのみ）
- USB
- PC カードコントローラー
- SD カードコントローラー
- ExpressCard コントローラー
- スマートカードコントローラー（スマートカードスロット内蔵モデルのみ）
- シリアルポート
- キーボード
- フラットパッド
- タッチパネル

*1 別売りの CD/DVD ドライブ取り付け時のみ
*2 Windows メニューで音声をオフにしている場合や、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作にはフラットパッドを使用することをお勧めします。フラットパッドを使わない場合は、内蔵キーボードをお使いください。タッチパネルは使用しないでください。

操作内容	フラットパッド操作	内蔵キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にポインターを置く。	Space を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（⊠(閉じる）は選択できません)。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません)。	アイコンの上で Space を押す。
PC-Diagnostics ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	⊠(閉じる）をクリックする。	Ctrl + Alt + Del を押す。

- フラットパッドが正常に動作しない場合は、 Ctrl + Alt + Del を押すか、電源スイッチをスライドして電源を切り、パソコンを再度起動してから PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。
下記の方法のほかに、セットアップユーティリティの「終了」メニューの「診断ユーティリティ」から診断を起動する方法もあります。(➔111 ページ)

1　AC アダプターを接続する。

診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2　無線切り替えスイッチ（➔80ページ）の電源を入れる。

3　パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。

セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

4　F9 を押す。

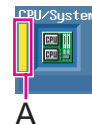
確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。

5　F10 を押す。

確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。
パソコンが再起動します。

6　[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、画面下に「Please Wait」と表示されるまで Ctrl + F7 を押す。

PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。
- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- ハードウェアアイコンの左側のバー（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、フラットパッドと内蔵キーボードは使えません。
- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ : 診断を最初から実行する。
  - □ : 診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません）
  - i : ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、 Space を押すと元の画面に戻ります）

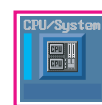
A

- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側に表示されるバー（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、メモリーやハードディスクの拡張診断を実行したりすることができます（拡張診断はメモリーとハードディスク専用に用意されています）。拡張診断は詳細な診断を行うため、実行が終了するまでにより多くの時間がかかります。

① をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
メモリーまたはハードディスクの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

③ をクリックして診断を開始する。

例：ハードディスク

7 すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。

バーの色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
バーの色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください（⇒『取扱説明書 基本ガイド』「再インストールする」）。

お知らせ

- RAM モジュール（別売り）を増設してメモリーの診断を実行し、「Check Result TEST FAILED」が表示された場合は、増設した RAM モジュールを取り外し、診断を実行してください。再び「Check Result TEST FAILED」のメッセージが表示された場合は、内蔵 RAM モジュールに問題があると考えられます。

8 **☒（閉じる）をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。**

アイコンがグレー表示されてデバイスの診断ができないとき

- そのデバイスがセットアップユーティリティで無効になっているとき

そのデバイスをセットアップユーティリティで「有効」に設定してください。

- USB アイコンがグレー表示されているとき

USB2.0 ポートが無効になっているか、USB3.0 ポートが損傷しています。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューで「USB ポート」を「有効」に設定してください。それでもアイコンがグレー表示される場合は、USB3.0 ポートが損傷している可能性があります。

Windows 7

「システムイメージの作成」および「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使うことで、ハードディスク全体をバックアップおよび復元することができます。
この機能では、ハードディスクの最新の状態がバックアップされます。工場出荷時の状態に戻すには、リカバリーディスクを用いてください。（➔124 ページ）

本機能の使用により生じたお客さまの損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクをバックアップする

ハードディスク全体のバックアップを別の記憶媒体（例：外付けハードディスク）に作成するには 、下記の手順を行ってください。

① (スタート) - [コントロールパネル] - [バックアップの作成] をクリックする。
② [システムイメージの作成]をクリックする。
③ バックアップする場所を選択し、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

お知らせ

- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。

ハードディスクを復元する

「システムイメージの作成」を使ってバックアップしたイメージデータを復元するには、「システム回復オプション」の「システムイメージの回復」を使います。

お知らせ

- 以下の操作は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときや再インストール直後には行えません。一度 Windows を起動／終了させると操作可能になります。
- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。
- Windowsが起動しない場合は、「システム回復オプション」を起動し、[システムイメージの回復]をクリックしてください。（➔122ページ）

1 **(スタート) - [コントロールパネル] - [バックアップの作成]をクリックする。**

2 **[システム設定またはコンピューターの回復]をクリックする。**

3 **[高度な回復方法]をクリックする。**

4 **[以前に作成したシステムイメージを使用してコンピューターを回復する]をクリックする。**
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

5 **ファイルをバックアップする場合は、[今すぐバックアップ]をクリックする。**
- ファイルをバックアップしない場合は、[スキップ] をクリックしてください。
  パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

6 **[再起動]をクリックする。**
- パソコンが再起動します。
  パスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

7 **[次へ]をクリックする。**
すでに選択されているキーボードレイアウト以外は指定しないでください。

8 **「このコンピューター上にシステムイメージが見つかりません」という画面が表示された場合は、システムイメージをバックアップした記憶メディア（外付けハードディスクなど）を本機に接続し、[再試行]をクリックする。**

9 **[次へ]をクリックする。**
画面の指示に従ってください。

■ システム回復オプションを表示する

- 「詳細ブートオプション」画面から行う方法

① パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えてから**F8**を押し続ける。
- 以下の操作中に、[パスワードを入力してください] と表示されたときは、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

②「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。

③ ↑と↓を使って[コンピューターの修復]を選び**Enter**を押す。
[システムイメージの回復]が表示されます。

④ [次へ]をクリックする。
・ すでに選択されているキーボードレイアウト以外は指定しないでください。

⑤ Windowsで登録したユーザーアカウント名を選ぶ。

⑥ パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

- リカバリーディスクを使う方法
  実行する前に、リカバリーディスクを作成する必要があります。（➔124 ページ）

① パソコンの電源を切り、マルチメディアポケットにCD/DVD ドライブをセットする。（➔42ページ）
② パソコンの電源を入れて、[Panasonic]起動画面が表示されている間に、 **F2**または**Del**を押す。
  - セットアップユーティリティが起動します。
  - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

③ セットアップユーティリティの内容を書き写し、 **F9**を押す。
  - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。

④ **F10**を押す。
  - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。
  - パソコンが再起動します。

⑤ [Panasonic]起動画面が表示されている間に、 **F2**または**Del**を押す。
  - セットアップユーティリティが起動します。
  - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

⑥ リカバリーディスクを CD/DVD ドライブにセットする。
⑦「終了」メニューの「デバイスを指定して起動」で、[TEAC DV-W28XXX]を選択する。
⑧ **Enter**を押す。
  - パソコンが再起動します。

⑨ [システム回復オプションを起動する]を選び、[次へ]をクリックする。
⑩ [次へ]をクリックする。
  - すでに選択されているキーボードレイアウト以外は指定しないでください。

⑪ 画面の指示に従って操作する。

リカバリーディスクを作成する

Windows 7

Windows 7 のリカバリーディスクを作成することができます（32 ビットまたは 64 ビット）。
リカバリーディスクは、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻します。ハードディスクの最新の状態をバックアップする場合は、「ハードディスクバックアップ／復元機能」を使用してください。（➔121 ページ）

準備

- CD/DVD ドライブ（別売り）を準備してください。（推奨ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
- 操作が完了するまでAC アダプターを取り外さないでください。
- 本ユーティリティ以外のすべてのアプリケーションソフトを閉じてください。

お願い

- リカバリーディスクの作成が完了するまで、次のことを行わないでください。
  - Windowsの終了または再起動
  - スリープまたは休止状態に入る

1. **管理者のユーザーアカウントでログオンする。**
2. **CD/DVD ドライブをマルチメディアポケットの中に入れる（➔42ページ）。**
3. **未使用のディスクをセットする。**
   使用できるディスクの種類と必要枚数は、画面に表示されます。
4. **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。**
   「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
5. **[次へ]をクリックする。**
6. **OS（32ビットまたは64ビット）を選択する。**
7. **[次へ]をクリックする。**
8. **ディスクの種類を選択する。**
9. **[次へ]をクリックする。**
   画面の指示に従って、必要な枚数のディスクを用意してください。

10 **[リカバリーディスク#1の書き込み] 画面が表示されたら、書き込み速度を選んで[OK]をクリックする。**

11 **[リカバリーディスク#1の作成が完了しました] 画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。**
ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。

12 **[OK]をクリックする。**
画面の指示に従って、ディスクの取り出しまたは入れ替えを行ってください。

13 **[すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました] 画面で、[OK]をクリックする。**
[すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました] 画面が表示されない場合は、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして[OK]をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。

お知らせ

- 作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
- 複数のユーザーがユーザー簡易切り替え機能を使って、本ユーティリティを使用することはできません。
- 本機に後から追加されたアプリケーションソフトは、リカバリーディスクに保存されません。
- リカバリーディスクの作成を中断した場合、手順*10*の画面に失敗の記録が表示されます。その場合は、最初からやり直してください。
- 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面が表示された後に、続けてリカバリーディスクを作成することはできません。ただし、ハードディスクのリカバリー領域を用いて再インストールを行うか、作成したリカバリーディスクを用いて再インストールを行えば、作成できるようになります。
- リカバリーディスクの作成に失敗したり、エラーメッセージが表示されたりした場合は、以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
  - ディスクを正しくセットする
  - ディスクの状態を確認する
  - パソコンを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成する
- リカバリーディスクを使って再インストールを行うと、ハードディスクは工場出荷時の状態に戻ります。
  32ビットと64ビットを切り替えたい場合は、ハードディスクのリカバリー領域を用いて再インストールしてください（⇒『取扱説明書 基本ガイド』「再インストールする」）。

Windows 7

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お願い

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。
- 修復用領域は消去できません。

お知らせ

- ハードディスクのデータを消去しても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数はリセットされません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。修復用領域を含むハードディスク全体のデータが消去されます。

準備

- すべての周辺機器を取り外してください。
- AC アダプターを接続して、操作が完了するまで取り外さないでください。

1 **パソコンの電源を切る。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **セットアップユーティリティの「終了」メニューで、「コンピューターの修復」を選ぶ（➔111 ページ）。**

4 **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] を選び、[次へ] をクリックする。**

5 **確認のメッセージで「はい」をクリックする。**

6 **[実行する] をクリックする。**

7 **再度 [実行する] をクリックする。**

8 **[はい] をクリックする。**
ハードディスクのデータ消去が始まります。

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スリープ [*1] 機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- **Windows 7**
  ネットワーク環境でお使いのときは、「コンピューターをスリープ状態にする」と「次の時間が経過後休止状態にする」を[なし]に設定することをお勧めします。（➔14ページ）

  Windows XP
  ネットワーク環境でお使いのときは、[システム スタンバイ] と [システム休止状態] を [なし] に設定することをお勧めします。
  [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックしてください。

*1 Windows XP: スタンバイ

Windows関連ファイルについて

プロダクトリカバリー DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。

Windows 7
c:¥windows¥support¥migwiz, c:¥windows¥support¥tools, c:¥windows¥support¥logging

Windows XP
c:¥util¥msupdate¥SP3¥docs, c:¥util¥msupdate¥SP3¥dotnetfx, c:¥util¥msupdate¥SP3¥support,
c:¥util¥msupdate¥SP3¥valueadd, c:¥windows¥i386

シリアル機器について

本機の COM ポートは、下記のように割り当てられています。

- COM1 : シリアルポート A
- COM2 : シリアルポート B（ポートリプリケーター [*2]）
- COM3 : GPS [*3]

*2 別売り
*3 GPS 内蔵モデルのみ

設定を変更すると、シリアル機器が正常に動作しないことがあります。

エラーコード／メッセージ

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/20XX に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、 **F2** または **Del** を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。
RAM モジュールエラーです。	RAM モジュールが正しく取り付けられていなかったり、指定以外の RAM モジュールが取り付けられていたりすると、パソコンの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「RAM モジュールエラーです。」というメッセージが表示されます。 ● 電源スイッチを 4 秒間以上スライドしてパソコンの電源を切り、RAM モジュールの仕様が指定の物であることを確認し、正しく取り付け直してください。
FAN エラー	ファンにエラーが起こっています。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで「ファン故障診断」を実行してください。(➔104 ページ) それでも表示される場合は、ご相談窓口にご相談ください。

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

• パソコンの使用状態を確認するには（➔147 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ ディスプレイ

Fn + F2 を押しても画面が明るくならない。	● 周囲の温度が高い場合、誤動作を防ぐために輝度が低く設定されます。 5 ℃ ～ 35 ℃の環境でお使いください。
Windows 7 「電源オプション」画面が表示されるのに時間がかかる。	● 次の手順を実行し、省電力設定ユーティリティにより「パナソニックの電源管理のコピー」が 100 個以上作成されていないか確認してください。 ① 画面右下の通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション] をクリックする。 ②「追加のプランを表示します」をクリックする。 [パナソニックの電源管理のコピー] が 1 件以上表示されたときは、削除する電源プランを選んで [プラン設定の変更] - [このプランを削除] をクリックし、削除してください。
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されなかったりする。	これらは故障ではありません。 ● 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤、青、緑色）するものがあります。（有効画素：99.998%以上、画素欠けなど：0.002%以下） ● 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。

■ スリープ*1・休止状態機能

スリープ*1または休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スリープ*1・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● モデム経由で通信している場合、パソコンがスリープ*1状態に入らないことがあります。 ● リジューム直後はスリープ*1または休止状態に入りません。約 1 分間お待ちください。
自動的にスリープ*1または休止状態に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続している場合、プロファイルを選択し、アクセスポイント（➔86 ページ）に接続してください。 ● 無線 LAN 機能を使わない場合、無線 LAN の電源を切ってください。（➔85 ページ） ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。
パソコンがリジュームしない。	● 電源スイッチを 4 秒以上押し続けると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスリープ*1状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？ スリープ*1中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スリープ*1または休止状態でも電力は消費されます。

*1 Windows XP: スタンバイ

■ サウンド

音が聞こえない。	● Fn+F4 または Fn+F6 を押してミュートを解除してください。 ● Fn+F8 を押して Concealed Mode を解除してください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● Fn とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。
Fn+F5 または Fn+F6 で音量を変更できない。	● Windows サウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、 が表示されても音量は変化しません。

■ サウンド

マイクを使って録音できない。	● コンデンサー型マイクロホンを使用してください。 ● マイクの種類によっては、設定を変更しなければならない場合があります。 ・2 極プラグタイプのモノラルマイクロホンを使用するとき： **Windows 7** ① (スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] - [録音] をクリックし、[Microphone] をダブルクリックする。 ② [拡張] をクリックし、[モノマイク]にチェックマークを付ける。 **Windows XP** ① [スタート] - [コントロールパネル] - [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] - [サウンドとオーディオ デバイス] - [オーディオ] をクリックし、[録音] の [音量] をクリックする。 ② [オプション] をクリックし、[トーン調整] にチェックマークを付ける。 ③ [Mic Volume] の [トーン] をクリックし、[2 Mono Mic] にチェックマークを付けてから、[閉じる]をクリックする。 ・ステレオマイクを使ってステレオ録音するとき： **Windows 7** ① (スタート) - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] - [録音] をクリックし、[Microphone] をダブルクリックする。 ② [拡張] をクリックし、[モノマイク]のチェックマークを外す。 **Windows XP** ① [スタート] - [コントロールパネル] - [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] - [サウンドとオーディオ デバイス] - [オーディオ] をクリックし、[録音] の [音量] をクリックする。 ② [オプション] をクリックし、[トーン調整] にチェックマークを付ける。 ③ [Mic Volume] の [トーン] をクリックし、[2 Mono Mic] からチェックマークを外し、[閉じる]をクリックする。

■ サウンド

Windows 7 ログオン時（パソコンのリジューム時など）に音がひずむ。	● 次の手順を実行し、サウンド設定を変更して音声出力を停止してください。 ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。 ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] のチェックマークを外す。

■ キーボード

日本語が入力できない。	● **半角 / 全角**を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない。	● NumLK ランプ ① の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。**NumLk** を押して解除してください。
大文字しか入力できない。	● Caps Lock ランプ Ⓐ の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 **Shift**+**Caps Lock** を押して解除してください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。(スタート) *2 - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] をクリックしてください。

*2 Windows XP: [スタート]

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「モデム」を「有効」に設定してください。（➔105 ページ）

■ ネットワーク

パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① (スタート) *3- [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]をクリックする。 ② Windows 7 「getmac /fo list /v」と入力し **Enter** を押す。 ● “c” と “/fo” の間、“fo” と “list” の間，“list” と “/v” の間にはそれぞれスペースを挿入してください。 Windows XP 「ipconfig/all」と入力し**Enter**を押す。 ③ 無線LANのMACアドレス： 「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6205 AGN」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。 有線LANのMACアドレス： 「Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。 ④「exit」と入力し **Enter**を押す。

*3 Windows XP: [スタート]

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

ネットワークに接続できない。	● 無線切り替えスイッチをスライドし、無線 LAN をオンにしてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「無線LAN」／「ワイヤレスWAN」／ [Bluetooth] を「有効」に設定してください。（➔107ページ） ● パソコンを再起動してください。

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。	● パソコンとアクセスポイントとの距離を近づけて、再度検出してください。 ● Windows 7 次の設定を確認してください。 • セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「無線 LAN」が「有効」になっていることを確認してください。（➔107 ページ） Windows XP 画面右下のタスクトレイに 、 または が表示されていることを確認してください。 表示されていない場合は、無線通信をオンしてください。（➔80 ページ） ● IEEE802.11b/g/n のとき、本機は 1 ～ 13*4 チャンネルを使用します。そのチャンネルがアクセスポイントで使用されているかどうか確認してください。 *4 無線接続を行う場合、使用される周波数帯域をセグメントに分割し、各帯域セグメントを用いて別個の接続を行うことができます。「チャンネル」とは分割された個々の周波数帯域幅を言います。
無線 LAN の接続が切れる。	● 「周辺機器を接続する」の「LAN の通信速度が極端に遅くなる。」をご覧ください（➔139 ページ）

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。 ● 周辺機器を接続する前に、まず周辺機器のドライバーが入っているメディア（CD-ROM など）を確認し、メディアに対応した機器をマルチメディアポケットに取り付けてください。いったんドライバーのインストール画面が表示されると、その後でマルチメディアポケットに取り付けた機器は認識されません。

■ 周辺機器を接続する

周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スリープ *5・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、PC カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を初期化してください。 ● デバイスマネージャーでまたはが表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。 ① Windows 7 (スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー] をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 Windows XP [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックする。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。） ● USB 機器が動作しない場合は、USB 機器を接続し直すか、別の USB ポートに接続してください。
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。 ● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。 それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔102 ページ）

■ 周辺機器を接続する

USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● ご使用のフロッピーディスクドライブによっては、正常に起動しない場合があります。フロッピーディスクからの起動は、当社製外部 FDD（品番：CF-VFDU03U）で動作を確認しています。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブやポートリプリケーターの USB ポートを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポートにすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USB ポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔107 ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」に設定してください。（➔108 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。
RAM モジュールが認識されない。	● RAM モジュールを正しく取り付けてください。 ● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください。（➔51 ページ） ● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください。（➔101 ページ）RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 次の手順で確認することができます。 ① Windows 7 (スタート) - [コンピューター] - [システムのプロパティ] - [デバイス マネージャー] をクリックする。 ● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 Windows XP [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] をクリックする。 ② [表示] - [リソース (種類別)] をクリックする。

■ 周辺機器を接続する

シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。	● 接続を確認してください。 ● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ● 同時に、2 個のマウスを使わないでください。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔102 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」メニュー、「シリアルポート設定」サブメニューで、「シリアルポート A」を「自動」に設定してください。（➔105 ページ） ● 使用できる I/O と IRQ は、機器により異なります。動作しないときは、セットアップユーティリティの「詳細」メニュー、「シリアルポート設定」サブメニューで、シリアルポート A の「I/O IRQ」の設定を変更してみてください。
ポートリプリケーターのシリアルポート B が動作しない。	● 使用できる I/O と IRQ は、機器により異なります。動作しないときは、セットアップユーティリティの「詳細」メニュー、「シリアルポート設定」サブメニューで、シリアルポート B の「I/O IRQ」の設定を変更してみてください。
印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。 ● プリンターがネットワーク経由で接続されている場合には、ネットワークの接続を確認してください。

■ 周辺機器を接続する

LAN の通信速度が極端に遅くなる。 ＜無線 LAN 内蔵モデルのみ＞ 無線 LAN 接続が切断されている。	**Windows 7** ● 次の設定をしてみてください。 （スタート）- [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] をクリックし、[高パフォーマンス] を選択してウインドウを閉じる。 **Windows XP** ● これらの問題は、CPU の省電力機能によって、パフォーマンスが低下するために起きる場合があります。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥cpupower¥setup.exe」と入力して[OK]をクリックする。 画面の指示に従ってください。 ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [CPU 省電力設定] をクリックする。 ③ [パフォーマンス優先]をクリックし、[OK] をクリックして、[はい]をクリックする。 パソコンが再起動します。 ● それでも問題が解決しない場合は、[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックし、[電源設定] の[常にオン]をクリックし、[OK] をクリックしてください。 • この操作は、CPU の省電力機能が原因で発生する現象には効果がありますが、その他の原因による現象には効果がありません（例：ビデオ再生など、CPU に高い負荷がかかりノイズが発生する場合など）。 • この操作を行うと、バッテリーでの駆動時間が多少短くなります。通常は、[CPU省電力設定] を [バッテリー優先（Windows XP標準）] に、また [電源オプション] の [電源設定] を [ポータブル／ラップトップ] に戻しておくことをお勧めします。

*5 Windows XP: スタンバイ

■ フラットパッド／タッチパネル

ポインターが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 Windows 7 [Windows] を押し、→ を2回押し、↑ を押し、[再起動]を選択してEnterを押してください。 Windows XP [Windows]、Uの順に押し、Rで [再起動] を選んでください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。（➔146 ページ）
フラットパッドを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「有効」に設定してください。（➔102 ページ） ● マウスのドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。
付属のスタイラスペンで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。（➔11 ページ）
タッチパネルを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「タッチスクリーンモード」を「自動」または「タブレット」にしてください。（➔102 ページ）
Internet Explorer でフラットパッドのスクロール機能を使用できない。	● マウスポインターを Internet Explorer の外へ移動してから、あらためて内側へ戻してみてください。
Adobe Reader でフラットパッドの水平スクロール機能が使用できない。	● フラットパッドの [スクロールの設定] を確認してください。 ● (スタート)[*6] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [マウス] - [フラットパッド] をクリックし、[スクロールの設定] にある [インテリマウスホイール互換] にチェックマークを付ける。

[*6] Windows XP: [スタート]

■ PCカード／エクスプレスカード

カードが使えない。	● カードは正しく挿入されていますか？ ● 規格に合ったカードをお使いください。 ● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「PCカードスロット」と「ExpressCardスロット」を「有効」に設定してください。（➔107ページ） ● ポートを正しく設定してください。 ● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。 ● カードを入れ直してください。（➔45 ページ） ● OS に対応したドライバーをお使いください。

■ SD メモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SDスロット」を「有効」に設定してください。（➔107ページ） ● 本機は、一部のSD/SDHCメモリーカードの最大保証速度をサポートしていません。

■ スマートカード（スマートカードスロット内蔵モデルのみ）

スマートカードが使えない。	● スマートカードを正しく挿入してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「スマートカード」を「有効」に設定してください。（➔107 ページ） ● スマートカードをお使いになる場合には、専用のソフトウェアをご用意ください。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

指紋の登録・認証ができない。	● 指を正しくスライドさせてください。登録と認証について詳しくは、「指紋センサーを使うには」（➔62 ページ）または「チュートリアル」をご覧ください。 ・（スタート）[*7]- [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [チュートリアル] をクリックする。 ● 指の状態が以下のような場合は、指を正しくスライドさせても登録・認証ができなかったり、正しく認証されなかったりすることがあります。 ・皮膚が荒れていたり、切り傷や皮膚炎がある ・極度に乾燥している ・泥や油で汚れている ・指紋が摩耗して溝が浅くなっている ・水にぬれている、または湿っている < 以上のような状態の場合は、次の処置で改善することができます > ・手を洗ったりふいたりする ・登録・認証に別の指を使う ・皮膚が荒れたり乾燥している場合は、ハンドクリームで手入れをする ● 指紋センサーをきれいにしてください。詳しくは「指紋センサーの取り扱いについて」（➔69 ページ）をご覧ください。 ● 上記の方法を行っても改善されない場合は、指紋センサーに不具合がある場合があります。ご相談窓口にご相談ください。
指紋センサーが動作しない。	● センサーを交換するときは、エクスポートしたパスポートが役に立ちます。 ・管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。 Windows のログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 ・[File Safe] [Personal Safe] にアクセスするには [File Safe] には、[File Safe] バックアップパスワードを使ってアクセスできます。 [Personal Safe] には、[Personal Safe] バックアップパスワードを使ってアクセスできます。 ・その他の機能 センサーの交換／取り外しは「指紋センサーの交換」の説明に従ってください。（➔144 ページ） いくつかの機能（パスポートの削除など）はセンサーなしで行えます。削除操作の場合は、パスワードダイアログを出すために、指紋認証操作をキャンセルする必要があります。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

指紋を登録できない。（けがなど）	● このような問題を避けるために、少なくとも2つの指紋を登録しておくことをお勧めします。複数の指紋を登録してある場合は、使用できる指を使ってください。指紋登録が1つしかない場合は、[指紋管理] を使って追加の指紋を登録することをお勧めします。 登録した指がどれも使えない場合は、以下の操作を行ってください。 ① 管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンする。 Windowsのログオンパスワードを使って常にパソコンにアクセスできます。便利モードでは、どのユーザーもそれぞれのログオンパスワードでパソコンにアクセスできます。 ② 登録した指紋をアップデートする。 Protector Suiteの機能をすべて使うには、使用できる指紋登録を持っていることが必要です。[指紋の管理] 画面に入ってください。 • バックアップパスワードを使っていない場合は、Windowsのパスワードを使って入ることができます。 • バックアップパスワードを使っている場合は、バックアップパスワードで入ることができます。 • バックアップパスワードを使っていない場合は、異なる指紋を追加する他の方法はありません。この場合は、指が再び使えるようになる（傷が治るなど）まで待つか、パスポートを削除（[ユーザーデータの削除] 使用）して、新しい指紋を登録し直すことをお勧めします。 パスポートを削除した場合は、保存されたすべてのシークレットデータ（パスワード、[File Safe]、[Personal Safe]、暗号化キー）が消失しますのでご注意ください。削除操作を行うには、パスワードダイアログを出すために指紋認証操作をキャンセルすることが必要です。そしてWindowsのログオンパスワードを入力してください。 • [File Safe] にアクセスするには 手順②を行っていない場合は、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます。 • [Personal Safe] にアクセスするには 手順②を行っていない場合は、[Personal Safe] バックアップパスワードを使って [Personal Safe] にアクセスできます。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

TPM が使えない。	● TPM（内蔵セキュリティチップ）を一緒に使用している場合に、TPMが損傷または削除されたり、無効になったりしている場合、[複数要素] は動作しません。 [複数要素] バックアップパスワードを使用しない場合は、「所有者データの再登録」を行ってください（➔71ページ）。[複数要素] バックアップパスワードを使用する場合は、以下の手順を行ってください。 ① （スタート）*7 - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] をクリックする。 ② [認証] - [複数要素] をクリックする。 ③ 「指紋 + TPM**」以外の方法を選択する。
指紋センサーの交換	● 指紋センサーを交換する必要がある場合は、以下の作業を行ってください。 ハードディスクへの登録： [ハードディスクへの登録] に設定してある場合は、[Protector Suite] はデバイス上にどのデータも保存していませんので、センサーを交換した後も問題ありません。しかし、パワーオンセキュリティ（リブート認証）を使っている場合は、[指紋の管理] を使って関係データをアップデートすることが必要になる場合があります。 デバイスへの登録： 指紋がデバイスに登録されている場合は、新しいパスポートを要求されます。[所有者データの再登録]（➔71ページ）を行ってください。
Protector Suite の再インストール	● Protector Suite を再インストールする前に、アンインストールしてください（➔71 ページ）。アンインストールが終了してから、Protector Suite をインストールしてください（➔64 ページ）。 ● Protector Suite をアンインストールしている間に、パスポートを含む Protector Suite データを消去する／しないを選択できます。 ● 再インストール後にパスワードまたはパスワードバンクのデータを使いたい場合は、[Protector Suite *.* のデータを後から使用できるように残す] を選択してください。インストールの後、再びデータを使用することができます。 ● [全ての Protector Suite *.* のデータを削除する] を選択した場合、再インストール後に再登録する必要があります。 指紋データの登録場所を変えたい場合は、Protector Suite の再インストールが必要です。

■ 指紋センサー（指紋センサー内蔵モデルのみ）

[File Safe] のバックアップパスワードを消失した。	● [File Safe] バックアップパスワードを変更する必要があります。ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 • （スタート）[*7] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] - [ヘルプ] - [チュートリアル] をクリックする。
Protector Suite をアンインストールした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● [File Safe] データへはProtector Suiteを使ってのみアクセスできます。誤ってProtector Suiteをアンインストールした場合は、再インストールの必要があります。アンインストールの間にパスポートを取り除かなかった場合は、[File Safe] を含むすべてが自動的に働きます。アンインストールの間にパスポートデータを取り除いた場合は、[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
パソコンがクラッシュした後に [File Safe] にアクセスしたい。	● エクスポートしたパスポートを持っている場合は、すぐにインポートすると、指紋を使って [File Safe] にじかにアクセスできるようになります。または、[File Safe] バックアップパスワードを使って [File Safe] にアクセスできます：[File Safe] はインストールが変わったことを認識して、代わりにバックアップパスワードの使用を提示します。
指紋センサーからデータを消去したい。	● 「デバイスへの登録」に設定した場合、パスポートデータはデバイスに保存されます。[ユーザーデータの削除] で既存のパスポートを消去してください。
操作中に「センサーから指をはなしてください」というメッセージが表示される。	● 以下の手順で指紋センサーを一時的に無効にできます。 ① 画面右下の通知領域の をクリックし、（Protector Suite）を右クリックする。 ② [センサーを使わない] を選ぶ。 • アイコンがグレー表示されます。 ● 指紋センサーを有効にするには、以下の手順を行ってください。 ① （Protector Suite）を右クリックする。 ② [センサーを使う] を選ぶ。

*7 Windows XP: [スタート]

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザー簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • **Fn** とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • シリアルマウスが動作しない。 • < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ > 内蔵セキュリティチップ（TPM）の Personal Secure Drive が動作しない。 • ＜無線 LAN 内蔵モデルのみ＞ 無線 LAN が使えない。 • ＜ Bluetooth 内蔵モデルのみ＞ Bluetooth が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● **Ctrl**+**Shift**+**Esc** を押してタスクマネージャーを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウインドウで隠れていませんか？ **Alt**+**Tab** で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを4秒以上押してパソコンを強制終了した後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、下記の操作を行ってください。 ① Windows 7 (スタート) - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックする。 Windows XP [スタート]- [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。 ② そのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールする。

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。

  Windows 7
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力します。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

Windows 7
- Guestアカウントでログオンした場合は、一部「未検出」と表示される情報があります。
- ネットワーク環境によっては、PC 情報ビューアーが起動するのに時間がかかる場合があります。

Windows XP
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。

1 **（スタート）*8 - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

1 **保存したい情報を表示する。**

2 **[保存]をクリックする。**

3 **ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。**

4 **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、あらかじめ記録されているハードディスクドライブの管理情報などの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルに保存する

1 **保存したい画面を表示する。**

2 **Ctrl + Alt + F7 を押す。**

3 **メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**

[ドキュメント][*9]フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で保存することもできます。
  (スタート)[*8] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [画面コピー] をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔57ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせはCtrl + Alt + F7 になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① 管理者のユーザーアカウントで Windows にログオンする。
  ② (スタート)[*8]- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ③ [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ④ カーソルを[ショートカットキー]に動かし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK]をクリックする。

  Windows 7

  ⑥「アクセス拒否」画面で [続行] をクリックする。

[*8] Windows XP: [スタート]

[*9] Windows XP: [マイドキュメント]

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core、Centrino は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

HS0611-1071
PCJ0323C_XP/7